

消防年報

平成25年版



南 但 消 防 本 部



平成24年5月22日 梁瀬小学校4年生社会見学（消防本部）



平成24年10月17日 列車火災事故対処合同訓練（JR西日本伯耆トンネル）

※※※※※※※※※※ は じ め に ※※※※※※※※※※

平成 2 5 年 4 月 1 日、養父市及び朝来市の消防事務が南但広域行政事務組合に移管され、南但消防本部が発足しました。

養父市及び朝来市では、平成 2 3 年 8 月 1 日に消防広域化協議会を設置し、消防広域化の協議を行ってまいりました。この間、兵庫県、養父市及び朝来市の議会、区長会、消防団、関係部局の皆様のご指導や市民の皆様のご理解のもとに 3 2 1 項目の事務事業の調整、協議が終わり消防広域化が実現したことに感謝申し上げます。

消防の広域化は、少子高齢化、災害や事故の複雑多様化及び大規模化など消防を取り巻く環境の変化に的確に対応し、消防広域化のスケールメリットを活用し、消防サービスの向上・行財政運営の効率化及び基盤の強化を図ることを目的としています。

南但消防本部では、消防本部を朝来市に置き、朝来消防署及び養父消防署並びに 2 出張所の体制で南但地域における安心と安全を確保するため、両市民の皆様の期待に応えられるよう消防行政の充実強化を図り、消防業務を進めてまいりますのでご理解とご支援をお願いいたします。

この消防年報は、消防広域化前の朝来市消防本部及び養父市消防本部の現勢及び平成 2 4 年中の火災、救急、救助などの各種災害や、消防業務に関する各種の情報を収録した資料です。

なお、統計資料は原則として暦年とし、予算関係事項については会計年度としました。

本書が今後の消防業務の推進に関する基礎資料として、広く活用されることをお願いするものです。

平成 2 5 年 7 月

南 但 消 防 本 部

消防長 小 川 宏 昭

1 南但消防本部の概要

(1) 位置と地勢

南但消防本部のある南但馬地域は、兵庫県の北部に位置し、養父市及び朝来市の2市で構成されています。

道路交通網は、京阪神と山陰地方を結ぶ主要な地域幹線道路である国道9号線・国道427号線が東西に、姫路方面と山陰地方を結ぶ国道312号線が南北に通っています。朝来市には国道312号線に沿って播但連絡道路とJR播但線が、国道9号線に沿って養父市・朝来市ではJR山陰線が走り、平成24年11月24日には北近畿豊岡自動車道（和田山JCT・IC～八鹿氷ノ山IC13.7km）が開通し、但馬山陰地方と京阪神大都市圏とを結ぶ交通の要衝にあります。

管内には、市川が北から南に流れ瀬戸内海にそそぎ、一級河川の円山川が南から北に流れ日本海にそそいでいます。

また、養父市には県下最高峰の氷ノ山や鉢伏山、ハチ高原、若杉高原や妙見山がそびえ、朝来市には、茶すり山古墳を始めとする多くの古代遺産、国史跡の竹田城跡や史跡の生野銀山などの中世から近世にかけての遺産、また、由緒ある神社・仏閣・各地に伝わる伝統芸能などの歴史文化遺産などが数多くあります。



(2) 管轄区域と面積

管轄区域：養父市及び朝来市

面 積：825.76km²

※養父市・朝来市は、東西約56km、南北約50kmあり、南但消防本部から養父消防署への直線距離は、約12kmとなります。

(3) 管轄人口と世帯

	養 父 市	朝 来 市	合 計
管 内 人 口 (人)	26,195	33,035	59,230
管内世帯数 (世帯)	9,709	12,404	22,113

※ H25.3.31.現在住民基本台帳人口による

(4) 消防庁舎



南但消防本部・朝来消防署



養父消防署



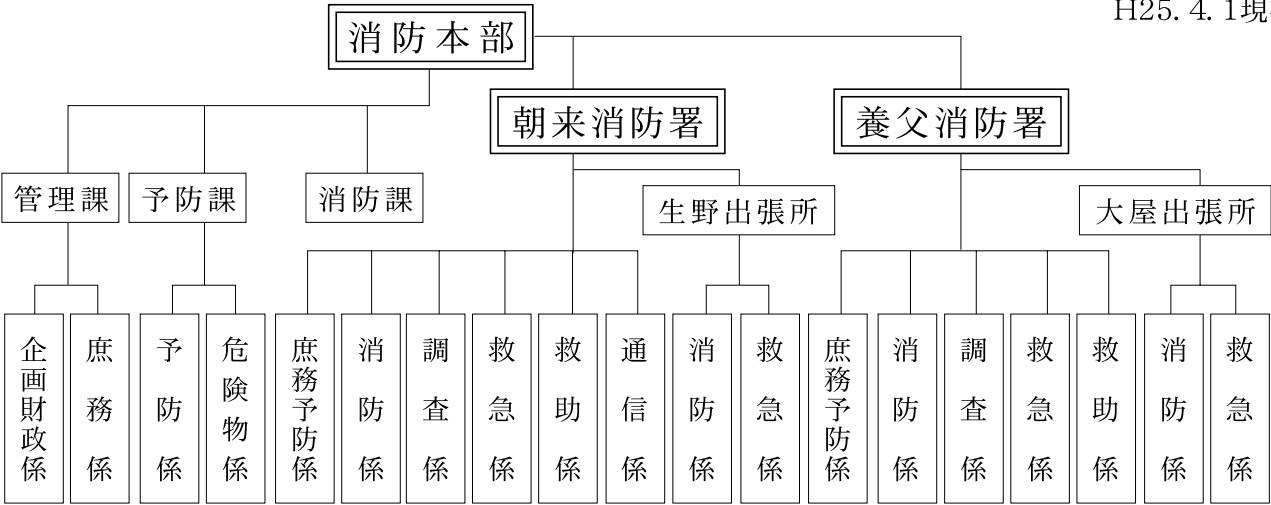
朝来消防署 生野出張所



養父消防署 大屋出張所

南 但 消 防 本 部 組 織

H25. 4. 1現在



階 級 別 職 員 配 置 状 況

H25. 4. 1現在

区 分		消防司令長	消 防 司 令	消防司令補	消 防 士 長	消防副士長 消 防 士	計
消 防 本 部	消 防 長	1					1
	次 長		1				1
	管 理 課		2	2		4	8
	予 防 課		2	5			7
	消 防 課		8	1			9
朝 来 消 防 署	署 長		1				1
	副 署 長		(1)				(1)
	庶 務 予 防 係		(1)	(5)			(6)
	第 一 部		1 (2)	5 (3)	2	3	11 (5)
	第 二 部		1 (2)	5 (3)	2	3	11 (5)
	生 野 所 長		(1)				(1)
	第 一 部		(1)	3	1		4 (1)
	第 二 部		1 (1)	3			4 (1)
養 父 消 防 署	署 長		1				1
	副 署 長		(1)				(1)
	庶 務 予 防 係		(1)	2		2	4 (1)
	第 一 部		2	6	3	(1)	11 (1)
	第 二 部		2	6	2	1 (1)	11 (1)
	大 屋 所 長		1				1
	第 一 部		(1)	3		1	4 (1)
	第 二 部			3	1	1	5
計		1	23 (12)	44 (11)	11	15 (2)	94 (25)

※ () は兼務職員を示す。

朝来市消防本部編



も く じ



一年間を振り返って……………	1・2
----------------	-----

第1章 消防の運営

1 平成24年度消防行政の推進……………	3
2 職員の能力開発……………	4
3 平成24年度当初予算……………	4

第2章 火 災

1 火災の概要……………	6
(1) 地域別火災の発生状況……………	6
(2) 損害額……………	6
(3) 出火原因……………	7
(4) 出火率……………	7
2 消防隊の活動……………	7
3 建物火災を探る……………	8

第3章 救急・救助

1 救急の概要……………	9
(1) 和田山・山東地域で増加……………	9
(2) 6割が急病……………	9
(3) 軽症が半数……………	9
(4) 高齢者が6割超……………	10
2 救急搬送と病院収容状況……………	10
(1) 管内医療機関の収容率は20%…	10
(2) ドクターヘリ・カーとの連携…	10
3 救命のために……………	11
(1) 救急業務の高度化……………	11
(2) C P Aと救命処置……………	11
(3) 応急手当の普及推進……………	11

4 救助の概要……………	12
(1) 出動の概要……………	12
(2) 活動の概要……………	12

第4章 通信と気象

1 消防通信……………	13
(1) 119番通報の受信状況……………	13
2 気 象……………	13

第5章 地域の安全をめざして

1 火災予防対策……………	15
(1) 予防査察……………	15
(2) 自主防火管理体制の強化……………	15
(3) 危険物施設の自主保安体制の強化…	16
2 火災予防広報……………	16
3 住民アンケート調査……………	16

第6章 消防団

1 消防団の現勢……………	18
2 消防団の活動……………	18
3 訓練・研修の実施……………	18

凡 例

統計表中の記号の用法は、次のとおりである。

「－」 ……該当数字なし

「0」 ……該当数字を四捨五入した結果、0となったもの

「…」 ……不明、不詳、不定および算出不能の数

1年間を振り返って



社会見学（5月14日 消防本部）

枚田小学校の4年生が通信指令室や車両の見学をしました。救助袋による脱出訓練の体験等を通して、消防の仕事についても学びました。



トライやるウィーク（6月4日～6月8日 消防本部）

生野、和田山、朝来中学校の2年生10人が、敬礼などの基本訓練から救助、放水訓練、普通救命講習などの様々な訓練に挑戦しました。



応急手当普及員講習会（8月1日 消防本部）

福祉施設の職員や教員が心肺蘇生法をはじめ、AEDの取扱い、搬送法や止血などの応急手当を熱心に受講されました。



全国消防救助技術大会（8月7日 東京都）

第41回全国消防救助技術大会が東京都で開催され、はしご登はんの部で木原秀幸消防士が兵庫県代表として出場しました。



播但連絡道路訓練（9月28日 城山トンネル）

播但連絡道路城山トンネルで、車両の衝突事故を想定し、兵庫県道路公社等と連携のもと播但連絡道路夜間防災訓練を実施しました。



航空隊合同山岳救助訓練（10月10日竹田城跡）

竹田城跡で、兵庫県消防防災航空隊と合同で山岳事故を想定した救助訓練を実施しました。

1年間を振り返って



JRトンネル訓練（10月17日 伯耆トンネル）
播但線伯耆トンネル内で、列車火災を想定した列車火災事故対処合同訓練をJR西日本と合同で実施しました。



インターンシップ（10月25日 消防本部）
和田山高校の生徒4名が消防業務に基本となる訓練礼式や消防訓練、救助訓練等に熱心に取り組みました。



職員意見発表会（11月6日 消防本部）
今回で第5回目となる職員意見発表会で6人の職員が、日頃の消防業務に対する熱い思いを発表しました。最優秀賞の小谷純一士長が、播但地区職員意見発表会に出場しました。



一日消防官（11月8日 消防本部）
女性消防団員6名が消防長から辞令交付を受けた後、市内のこども園・保育園を回り、防火紙芝居で家庭内の火災予防を呼びかけました。



消防教室（11月21日 消防本部）
市内の園児が消防教室に来ました。消防車、救急車等の見学や乗車を体験し、消防署を身近に感じてもらいました。



訓練始め（1月9日 消防本部）
新たな年のスタートにあたり「訓練始め」を実施しました。今年は、養父市消防本部からポンプ隊1隊も参加し、職員一同気を引き締めました。

第 1 章 消防の運営

1 平成24年度消防行政の推進

平成24年8月22日に、養父市・朝来市による消防広域化協定書が締結され、当市消防本部は、平成25年4月1日、新たに南但消防本部として発足することが決定しました。この広域化によって両市が保有する現有消防力を効率的かつ効果的に運用することにより、増加する救急需要への対応や初動時における体制の確保、災害の規模に応じた部隊運用が可能になります。

また、職員数が増加することによって、予防業務や救急業務など専門性の高い知識、技術を要する職員の育成や確保が容易になります。

これら広域化によりもたらされるメリットを最大限に活かし、市民サービスのさらなる向上を図るとともに、市民の皆さんの期待と信頼に応えられる消防本部を目指します。



なお、国の示す消防行政重点推進施策を基に定めた当該年度の重点推進事項は、次のとおりです。

○自主防災と防火管理体制の強化

- ・地域の自主防災組織及び事業所の自衛消防組織の育成と充実
- ・防火対象物における防火管理体制の強化と定期点検報告制度の円滑な運用
- ・消防危険物、高圧ガス、毒物劇物の保安管理の徹底
- ・火災調査能力の向上と調査結果に基づく住宅火災による死者防止対策の強化

○住宅防火及び災害弱者対策の推進

- ・消防教室の積極的推進と住宅用火災警報器の普及促進
- ・福祉施設の防火安全対策の充実

○消防活動の高度化

- ・警防計画の効率的運用による、中高層建物及び福祉用途建物の消防対策の強化
- ・業務継続計画に基づく、新型インフルエンザ発生時における消防機能の維持強化

- ・救助訓練の積極的推進による救助技術の向上と防災ヘリ等との連携の強化
- ・ドクターヘリやドクターカーと連携した救急体制の高度化及び市民への応急手当普及の促進
- ・消防広域化の推進と高機能消防司令センター等通信体制の効率化

○消防団との連携及び広域消防相互応援体制の整備

- ・消防団との連携強化による初動体制の強化と地域の自主防災力の向上
- ・緊急消防援助隊等の広域応援出動体制の整備と受援計画の整備

○活力ある職場づくり

- ・積極的な研修推進による職員の能力開発と資質向上並びに職員の士気の高揚
- ・消防職員委員会や安全衛生管理委員会制度を活用した風通しの良い職場づくりと職場環境の改善促進
- ・各課間の連携による効果的・効率的な事業推進と消防事務のＩＴ化の推進

2 職員の能力開発

平成24年度も消防学校を始めとした各種研修機関に積極的に職員を派遣するとともに、研修修了者による職場内研修を積極的に行い職員の能力開発に努めました。

また、幹部職員を養成するため、消防大学校に1名を派遣しました。

救急業務では兵庫県救急救命士養成所に1名を派遣するとともに、救命士再教育として災害医療センターに6名、近隣の医療機関に8名を派遣しました。また、兵庫県消防学校には救助科等に12名を派遣し、その他各種機関が行う専門研修・講習会に職員を派遣しました。

3 平成24年度当初予算

平成24年度歳入歳出予算の総額は652,345千円で、前年当初額より155,084千円増加しました。

歳入では、一般財源が546,380千円で前年度と比較すると50,365千円増加しました。歳出では、人件費が歳出予算総額の68％を占め、消防施設整備事業費は18.9％の123,213千円で、高規格救急車及び生野出張所指揮車の更新、耐熱服、空気呼吸器等の資機材購入費を計上しました。

1 表 平成24年度当初予算財源構造（歳入）

（単位：千円）

区 分		平 成 2 4 年 度	平 成 2 3 年 度
総 計（A）		652,345（100％）	497,261（100％）
経 常 的 な も の	小 計	651,819（99.9％）	496,735（99.9％）
	一 般 財 源（B）	546,380（83.8％）	496,015（99.8％）
	特 定 財 源（C）	105,439（16.1％）	720（0.1％）
	上 記 の う ち 検 査 手 数 料（Cとの割合）	650（0.6％）	650（90.3％）
臨 時 的 な も の（D）		526（0.1％）	526（0.1％）

※（ ）内は、（A）との割合

2 表 平成24年度当初予算性質別状況（歳出）

（単位：千円）

区 分		平 成 2 4 年 度	平 成 2 3 年 度
総 計		652,345（100％）	497,261（100％）
義 務 的 経 費	小 計	443,922（68.0％）	435,442（87.6％）
	人 件 費	443,922（68.0％）	435,442（87.6％）
	公 債 費	—（—％）	—（—％）
任 意 的 経 費	小 計	208,423（32.0％）	61,819（12.4％）
	物 件 費	76,905（11.8％）	34,661（7.0％）
	維 持 補 修 費	1,772（0.3％）	3,672（0.7％）
	補 助 費 等	6,533（1.0％）	5,281（1.1％）
	積 立 金	—（—％）	—（—％）
	普 通 建 設 事 業 費	123,213（18.9％）	18,205（3.6％）
	予 備 費	—（—％）	—（—％）

第2章 火 災

1 火災の概要

平成24年中の朝来市内の火災発生件数は19件（前年16件）で、損害額は70,172千円（前年59,316千円）となりました。

火災種別は1図のとおりで、建物火災が12件と最も多く、次いで林野火災2件、車両火災1件、その他の火災4件となっています。

死傷者をみると、死者は車両火災で1名、負傷者は建物火災で2名、その他の火災で1名発生しています。

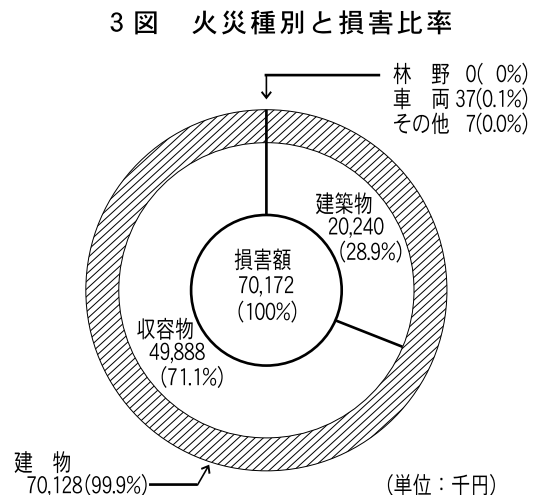
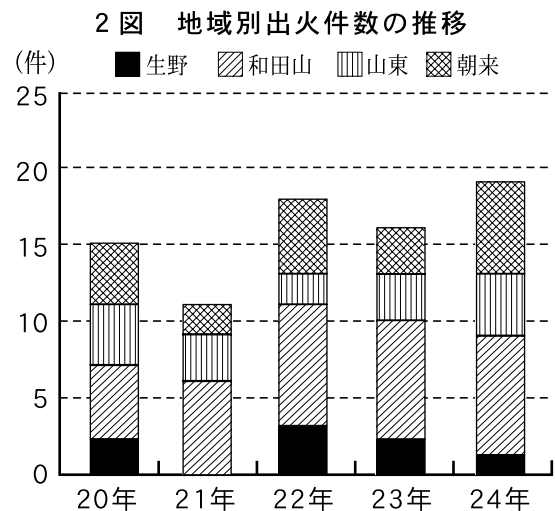
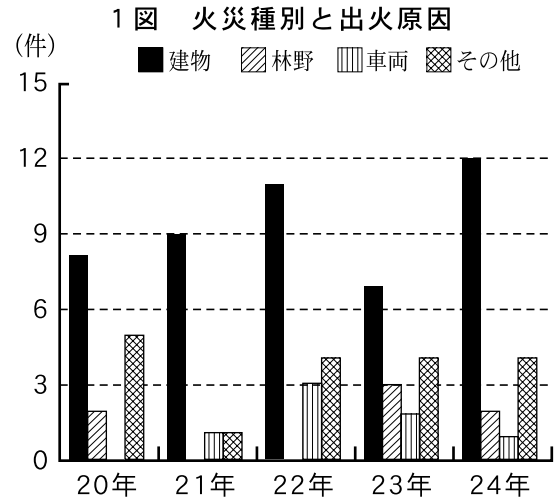
(1) 地域別火災の発生状況

次に地域別発生状況をみると2図のとおりで、和田山が8件と最も多く、次いで朝来が6件、山東が4件、生野が1件となっています。前年と比較すると、生野が1件減少したのに対し、朝来が3件、山東が1件増加し、和田山は同数となっています。

(2) 損害額

損害額は70,172千円で前年（59,316千円）と比較すると10,856千円の増加となりました。

損害の比率をみると、3図のとおりで建物火災が70,128千円となり、全体の99.9%を占めています。続いて、車両火災が37千円（0.1%）、その他の火災が7千円（0.0%）となっています。



地域別にみると、1表のとおりで山東が47,359千円と最も多く、次いで和田山の22,071千円、朝来の466千円、生野の276千円となっています。

(3) 出火原因

19件の出火原因をみると、「電気配線」「焼却炉」「取灰」「放火」「焼却火」が各2件となり、次いで「こんろ」「風呂かまど」「生地仕上機」「静電気」「火あそび」「たばこ」「草焼きバーナー」が各1件、「不明」が2件となっています。

(4) 出火率

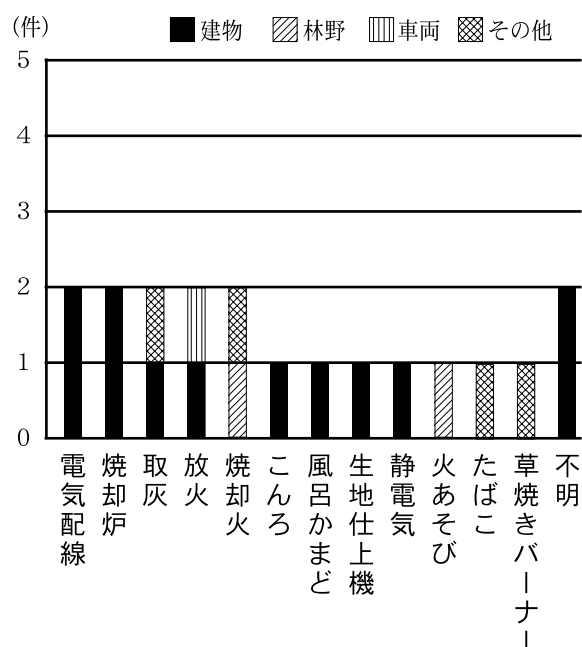
平成24年中に朝来市で発生した火災件数19件を出火率（人口1万人当たりの出火件数）でみると5.70となり、前年（4.77）より増加しています。

※参考 兵庫県3.70、全国3.48

1表 地域別損害額 (千円)

区分	総数	生野	和田山	山東	朝来
総数	70,172	276	22,071	47,359	466
建物	70,128	276	22,030	47,359	463
林野	0	—	0	—	0
車両	37	—	37	—	—
その他	7	—	4	—	3

4図 火災種別と出火原因



2 消防隊の活動

消防隊の火災出動状況は2表のとおりで、出動人員は延べ965人（消防職員213人、消防団員752人）、出動車両は延べ132台（消防本部58台、消防団74台）となり、これを火災1件当りでみると、60.3人、8.3台が出動したことになります。

検索・その他の出動状況は3表のとおりで、出動件数は330件、出動人員は延べ770人、出動車両は延べ346台となっています。出動の種別としては、救急隊の支援活動が292件（P A連携80件、ドクターヘリ支援212件）と最も多く、次いでその他の災害（油漏れ処理、火災に至らず等）が8件、虚誤報（自動火災報知設備の誤発報等）が6件、その他の活動（無届け火煙、行方不明者の搜索等）が24件となっています。

2表 火災出動状況

区 分		総 数	火 災 種 別				1 件 当 り	
			建 物	林 野	車 両	その他	24年	23年
	出 動 件 数	16	11	2	—	3	—	—
出 動 人 員 (人)	総 数	965	806	143	—	16	60.3	38.8
	消 防 本 部	213	170	27	—	16	13.3	12.5
	(内非常招集職員)	(55)	(46)	(9)	—	(0)	(3.4)	(3.9)
	消 防 団	752	636	116	—	—	47.0	26.3
出 動 車 両 (台)	総 数	132	103	23	—	6	8.2	6.4
	消 防 本 部	58	43	9	—	6	3.6	3.6
	消 防 団	74	60	14	—	—	4.6	2.8

(注) 事後聞知の火災 3 件は除く。なお、消防団の出動件数は 6 件です。

3表 検索・その他の出動状況

区 分	総 数	自然 災害	その他 の災害	救急隊支援			虚 誤 報	そ の 他
				合 計	P A 連 携	ドクター ヘリ支援		
出 動 件 数	330	—	8	292	80	212	6	24
出 動 人 員	770	—	43	622	171	451	16	89
出 動 車 両	346	—	17	293	80	213	6	30

(注) PA連携とは、救急隊のみでは処置や搬送が困難な場合で消防本部が連携出動したもの。

3 建物火災を探る

火災件数19件のうち建物火災は12件発生しており全体の63%を占めています。焼損棟数は15棟（前年8棟）で内訳は全焼3棟、半焼2棟、部分焼4棟、ぼやが6棟となっています。建物火災の焼損面積は754㎡（1件当たり63㎡）で、損害額は70,128千円（同5,844千円）となり、前年（1件当たりの焼損面積76㎡、1件当たりの損害額8,465千円）と比較すると、焼損面積、損害額は減少したものの焼損棟数は増加しています。

建物火災12件を用途別にみると、住宅6件、工場・作業場3件、倉庫2件、福祉施設1件となっています。6件の住宅火災で8世帯23人がり災し、前年（7世帯19人）と比較すると増加しています。その中で、近隣の方が住宅火災を発見し、連携して初期消火を行い、火災の拡大を未然に防いだ事案が2件ありました。

近隣の方がいざという時協力して助け合うことが、住宅火災の被害を最小限に食い止める大きな力になります。火災を早く知るための住宅用火災警報器の設置はもとより、消火器・屋外消火栓の使用方法などを消防教室を通して積極的に呼び掛けていきます。

第3章 救急・救助

1 救急の概要

救急出場件数は1,481件、搬送人員は1,354人で、前年と比較すると出場件数で24件（1.6％）、搬送人員では8人（0.6％）の増加で、出場件数は過去最多となっています。これは1日平均4件の割合で出場し、市民25人に1人を搬送したことになります。

（1）和田山・山東地域で増加

地域別救急出場の推移は1図のとおりです。前年と比較すると、和田山地域が55件、山東地域が5件増加しているのに対し、朝来地域は31件、生野地域は3件減少しています。

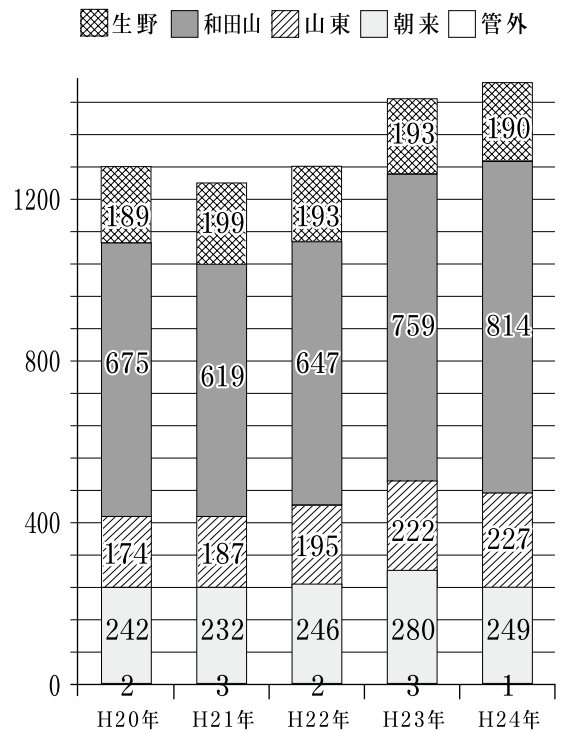
（2）6割が急病

出場件数を事故種別ごとにみると、急病が最も多く903件（61.0％）で全体の6割以上を占めています。次いで一般負傷が254件（17.2％）、交通事故が143件（9.7％）、転院搬送が111件（7.5％）となっています。

（3）軽症が半数

医療機関へ搬送した1,354人を傷病程度別にみると、軽症654人（48.3％）と中等症494人（36.5％）で全体の8割以上を占め、重症は150人（11.1％）、死亡55人（4.1％）となっています。

1図 地域別救急出場件数の推移



1表 事故種別出場状況

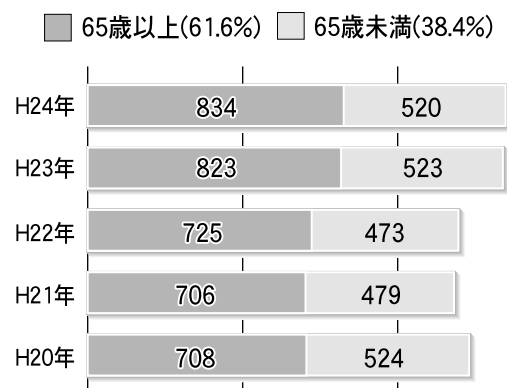
区分	24年 (A)	23年 (B)	増減 (C)	増減率 (C/B×100)
総数	1,481	1,457	24	1.6
火災	1	1	—	—
自然災害	—	—	—	—
水難事故	—	—	—	—
交通事故	143	167	△24	△14.4
労働災害	19	16	3	18.8
運動競技	7	9	△2	△22.2
一般負傷	254	238	16	6.7
加害	7	4	3	75.0
自損行為	15	13	2	15.4
急病	903	845	58	6.9
転院搬送	111	140	△29	△20.7
その他	21	24	△3	△12.5

(4) 高齢者が6割超

医療機関へ搬送した傷病者1,354人のうち、65歳以上の高齢者は834人で、全体の61.6%を占めています。

前年と比較すると高齢者の搬送者数は11人増加しています。また、高齢者の占める割合は、前年（61.1%）を上回り、過去最高となっています。

2 図 高齢者搬送の推移



2 救急搬送と病院収容状況

(1) 管内医療機関の収容率は約20%

救急隊が搬送した傷病者の医療機関への収容状況は2表のとおりで、管内の医療機関へ267人（19.7%）、管外の医療機関へは1,087人（80.3%）収容しています。管内の収容率は前年（21.2%）より低下し、過去最低となっています。

2 表 管内・管外医療機関別収容状況

区 分	総 数	交通	一般	急病	転院	その他
総 数	1,354	144	237	827	111	35
管 病 院	259	24	65	152	14	4
内 診療所	8	—	2	5	—	1
管 病 院	1,069	117	162	663	97	30
外 診療所	18	3	8	7	—	—

(2) ドクターヘリ・カーとの連携

ドクターヘリ、ドクターカーの要請件数は558件で、これらによる搬送人員は前者が149人、後者が133人、合せて282人となっています。

なかでも、ドクターカーの運行時間が平成23年12月から延長されたことにより、要請件数は、前年の244件から大幅に増加しています。

3 表 ドクターヘリ・ドクターカー要請件数

区 分	総 数	急 病	交通 事故	一般 負傷	転院 搬送	そ の 他
要 請 件 数	558	386	57	69	15	31
ドクターヘリ 搬送人員	149	83	25	21	8	12
ドクターカー 搬送人員	133	101	12	13	4	3

3 救命のために

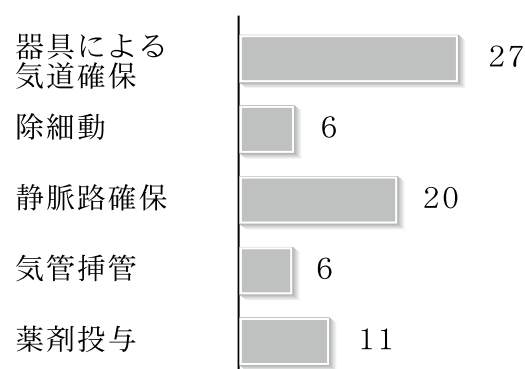
(1) 救急業務の高度化

平成23年10月に一部改正した救急業務高度化推進計画に基づき、救急救命士の養成・再教育、高規格救急車等の救急資機材の整備、ドクターヘリ・ドクターカーの活用に取り組んでいます。また、但馬地域の病院と連携しメディカルコントロール協議会を設置し、病院実習や救急活動の事後検証などの教育を行なっています。

(2) CPAと救命処置

平成24年中のCPA搬送者は49人でした。CPAの搬送者に対し、器具による気道確保27回、静脈路確保20回、薬剤投与11回、除細動、気管挿管を各6回、延べ70回の救命処置を行い、10人が心拍再開し、2人が1ヶ月後生存となっています。

3図 CPA搬送者に対する救命処置



※CPA搬送数 49人

(注) CPAとは、心肺機能が停止した傷病者をいう。

(3) 応急手当の普及推進

助かるはずの命を救うためには、速やかな119番通報と市民による救命処置が重要となります。消防本部では、毎年、市民に対する普通救命講習を積極的に実施しています。本年は延べ32回実施し、565人（うち、新規受講者は408人）が受講しました。その結果、朝来市の総人口に対する普通救命講習修了者の割合は18.6%となりました。

また、市民ボランティアによる応急手当の普及啓発を目的とした、応急手当普及員の養成を行い、5名を認定しています。

4表 普通救命講習実施状況

実施区分		受講者総数	新規受講者数
学校関係		197	142
事業所	公共施設	37	35
	福祉施設	21	19
	工場等	37	33
消防団		60	35
市職員		4	4
その他		209	140
総数		565	408

4 救助の概要

(1) 出動の概要

平成24年中の救助出動件数は27件で、前年と比較すると1件の増加となっています。これを事故種別でみると、交通事故が13件、機械事故が1件、その他の事故が13件となっています。その他の事故の内訳は、山岳での事故が3件、高所からの転落、低所への転落事故が8件、その他が2件となっています。発生場所を地域別にみると、和田山が12件と最も多く、次いで山東が6件、生野5件、朝来4件となっています。

(2) 活動の概要

救助隊が救助活動を行った件数は10件（前年15件）で、11人（前年16人）を救助しました。

傷病程度別では死亡1人（前年1人）、重症3人（同8人）、中等症4人（同3人）、軽症3人（同3人）となっています。

出動車両は延べ90台（前年91台）、出動人員は延べ237人（同245人）で、1件あたり3台8人が出動したことになります。

また、兵庫県防災ヘリの要請は5表のとおりで、2件の連携活動を行いました。



4 表 救助出動・救助活動の状況

区 分	出 動 件 数	活 動 件 数	傷 病 程 度 別 救 助 対 象 人 員							出 動 車 両	出 動 人 員
			総 数	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他			
総 数	27	10	11	1	3	4	3	—	90	237	
交 通 事 故	13	5	6	—	2	2	2	—	46	125	
機 械	1	—	—	—	—	—	—	—	3	8	
その他の事故	13	5	5	1	1	2	1	—	41	104	
平 成 2 3 年	26	15	16	1	8	3	3	1	91	245	

5 表 兵庫県消防防災ヘリの要請状況

発 生 月 日	事 故 種 別	場 外 臨 着 場
5 月 1 3 日	その他の事故（山岳での事故）	—
6 月 1 0 日	その他の事故（山岳での事故）	円山川河川公園

第 4 章 通信と気象

1 消防通信

(1) 119番通報の受信状況

平成24年中の119番通報の受信件数は1表のとおり2,078件で、緊急通報が1,379件（66.4%）、緊急外通報が699件（33.6%）となっており、前年と比較すると緊急通報が44件、緊急外通報も97件増加しています。緊急通報では火災通報が6件、救急要請が84件増加し、病院紹介が14件減少しています。

携帯電話からの119番通報受信件数は599件で、前年と比較すると71件増加しています。そのうち、火災通報は8件（火災通報全体の53.3%）、救急要請は311件（救急要請全体の25.8%）となっています。

緊急外通報では、間違い90件、問合わせ48件、いたずら8件のあわせて146件で、119番通報受信件数全体の7.0%となっています。

1表 119番通報受信状況

区 分	総 数	緊 急 通 報						緊 急 外 通 報					
		計	火 災 通 報	救 急 要 請	病 院 の 紹 介	第 2 報 等	検 索 ・ 誤 報 等	計	通 報 訓 練	間 違 い	いた ず ら	問 合 わ せ	そ の 他
23年	1,937	1,335	9	1,122	112	77	15	602	260	73	9	58	202
（うち携帯電話 による通報）	(528)	(362)	(8)	(268)	(43)	(38)	(5)	(166)	(46)	(25)	(4)	(26)	(65)
24年	2,078	1,379	15	1,206	98	42	18	699	295	90	8	48	258
（うち携帯電話 による通報）	(599)	(390)	(8)	(311)	(44)	(18)	(9)	(209)	(28)	(52)	(3)	(21)	(105)

（注）受信件数のうち、試験の受信は除く。

2 気 象

平成24年中の神戸海洋気象台和田山地域観測所（消防本部敷地内に設置）における天候等の観測状況は、晴（快晴を含む）129日、くもり73日、雨129日、雪30日で、前年と比較すると、晴が7日、雪が4日少なくなり、くもりが3日、雨が4日多くなっています。

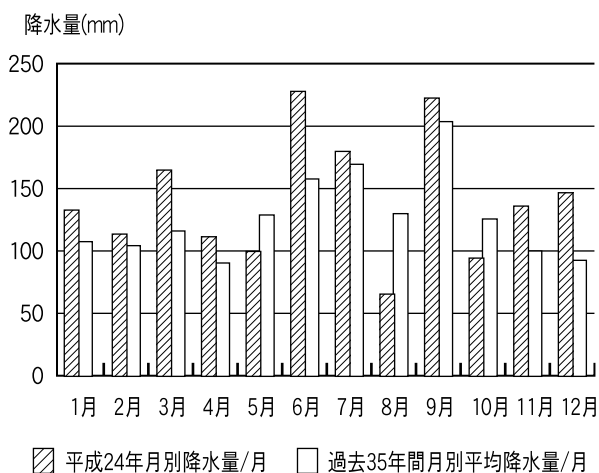
年間降水量は1,701.5mmで、過去35年間の平均(1,549.3mm)と比較すると155.2mm多かった。年間の月別降水量は1図のとおりで、過去の月別平均降水量と比較すると、1、2、3、4、6、7、9、11、12月が多く、5、8、10月が少なくなっています。6月は台風4号や梅雨前線の影響で平年より70.9mm多く、9月は台風16号の影響で平年より24.0mm多くなっています。3、11、12月は寒気や気圧の谷の影響で平年よりも約40.0mm以上多くなりました。

気温は、最高気温が36.8度(前年36.5度)、最低気温が-10.0度(同-8.5度)となっています。平均気温は13.6度(同13.8度)で、過去35年間の平均気温(13.7度)並みとなりました。月別平均気温は2図のとおりで4、7、8、9、10月が平年を上回りました。気温30度以上の真夏日が6月に1日、7月に20日、8月に28日、9月に10日ありました。

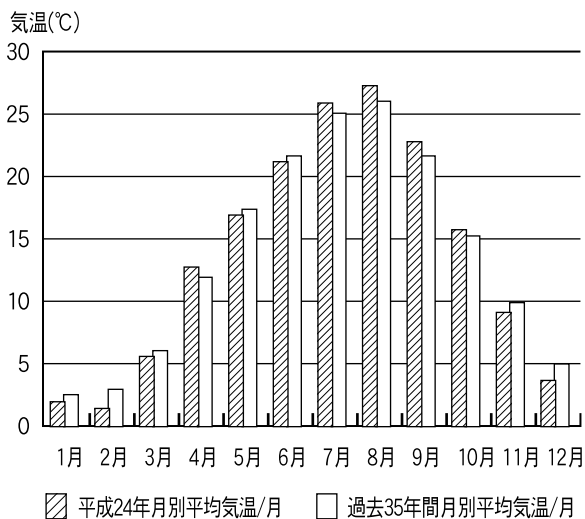
湿度の年間平均は、相対湿度74.6%(前年75.2%)、実効湿度74.4%(同73.1%)でした。

台風は25個(平年25.6個)発生し、接近数は17個(平年11.4個)と平年を上回り本土への接近数は6個と平年並みでした。上陸した台風は4号、17号の2個(平年2.7個)と平年並みでした。

1 図 月別降水量比較



2 図 月別平均気温比較



第5章 地域の安全をめざして

1 火災予防対策

火災の発生を予防し、火災による被害の拡大防止を図るため、防火対象物及び危険物施設に対する出火防止対策を推進しています。

地震の災害発生時には火災の同時多発が予想され、状況によっては大火災に拡大する可能性があるため、日頃から火気やその他出火危険のある物品等の取扱いについて、管理状況等を把握し火災予防の徹底を図っています。

(1) 予防査察

市民の皆さんに安心して暮らしていただくために、多くの人が利用する防火対象物や危険物施設などに立ち入り、防火管理や消防用設備等の維持管理、危険物の保安状況などを検査しています。

平成24年度中に実施した予防査察件数は防火対象物（棟数）が341件、危険物施設が103件で、査察後は対象物の関係者に対して「査察結果通告書」を交付し、防火安全上及び危険物保安上の不備欠陥事項について改修等を指導しています。



立ち入り検査

(2) 自主防火管理体制の強化

災害に強い安全なまちづくりの推進のためには、家庭、職場を問わず市民一人ひとりが常に防火防災に関心を持つことが重要です。日頃から、災害が発生した場合、的確に対処できるよう基礎知識を身につけておくことが大切です。そのために、各区の地域自治協議会や区を対象に消防教室を実施したほか、消火器や住宅用火災警報器などの住宅用防災機器の普及啓発及び維持管理の徹底を図っています。

事業所の支援としては、防火管理講習を開催し、甲種防火管理者の養成に努めたほか、普通救命講習の開催、旅館・ホテル並びに病院・社会福祉施設の防



消防教室

火研修会を開催し、施設関係者の自主防火管理体制の強化を図りました。

(3) 危険物施設の自主保安体制の強化

自主保安体制の強化を推進するため、既設の地下貯蔵タンクに対する流出事故防止対策や朝来市危険物規則で危険物施設の定期点検結果の届出を義務付けています。

また、朝来市危険物安全協会と協力し、広く市民に危険物の保安の確保を呼びかけるため、毎年6月の第2週を「危険物安全週間」とし、ホームページやポスター等による広報、危険物研修会等を実施し、危険物の保安に対する意識の高揚及び啓発を展開しています。

2 火災予防広報

春、秋の火災予防運動では、防火ポスター等火災予防の広報資料や防火のぼり旗等の配布を行いました。そして、「一日消防官」による市内保育園への防火訪問の際には防火紙芝居を読み聞かせ、園児一人ひとりと火遊び禁止の約束をし、家庭内での火災予防を呼びかけていただきました。

また、市内の小・中学生が描いた防火ポスターを各地域文化祭などにおいて展示する、防火ポスター展を開催しました。



一日消防官

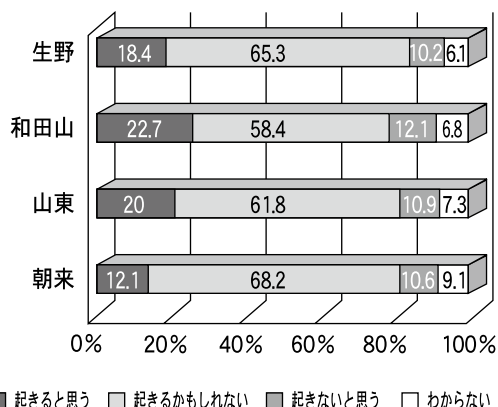
そのほか、消防教室やケーブルテレビ放送の「こんにちは消防署です」のコーナー、消防広報紙「119だより」で火災予防に役立つ情報の提供を行うなど、消防を身近に感じてもらえるような施策の展開に努めています。

3 住民アンケート調査

毎年度実施している住民に対するアンケート調査ですが、平成24年度は地震に対する意識と備えについて市内の500人を対象に調査を実施したところ、302人（60.4%）から回答がありました。

『あなたの町でも大地震が起きると思いますか』と尋ねると、「起きると思う」が58人（19.2%）、「起きるかもしれない」

1図 あなたの町でも大地震が起きると思うか



が188人（62.2％）あり、合わせて246人（81.4％）がいつ起きてもおかしくない、いつかは起きるだろうと考えているようです。

続いて、『大地震が起きたなら、大きな揺れの最中まずどのような行動を取りますか』には181人（59.9％）が「火（ガス）を止める」と答えており、地震時の火の怖さは十分承知されていました。

地震発生時の行動の次に、『あなたの家庭では万一、大地震が起きた時の備えとして何か備えていますか』と尋ねると、2図のとおり「持ち出し品の準備をしている」と答えた人が74人（24.5％）、次いで「避難場所、避難方法を家族で話し合っている」が45人（14.9％）などでした。

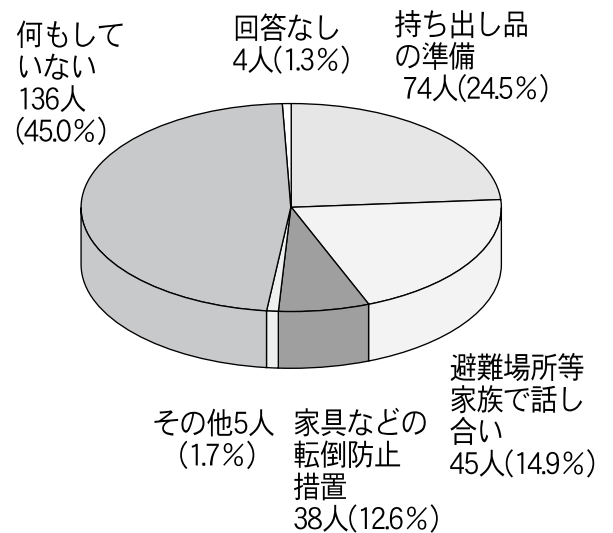
そして『自分たちの地域は自分たちで守るという精神の自主防災組織においてはどのような活動が必要と思うか』を尋ねると、3図のとおり最も多かったのが「初期消火や地震の時のなどの定期的な訓練」で171人（56.6％）ありました。

『自主防災組織の活動に対して、消防署や市役所に何を期待するか』の問いにも、やはり「初期消火や避難訓練の指導等消防教室の実施」が最も多くありました。

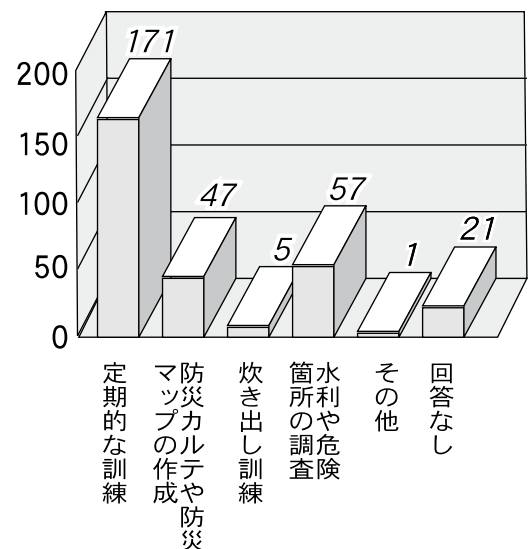
朝来市内では、各区ごとに消火器等を使用した初期消火訓練を行っていますが、近年は区を挙げて大災害を想定した避難訓練を実施する地域が増えつつあります。

消防本部としては市民の皆様方の意見を十分に取り入れながら、今後も減災を目指し、朝来市自主防災推進協議会とも連携し、自治会や地域の団体での訓練の支援にも力を注いで行きたいと考えています。

2図 大地震が起きた時の備え



3図 どのような活動が必要か



第6章 消防団

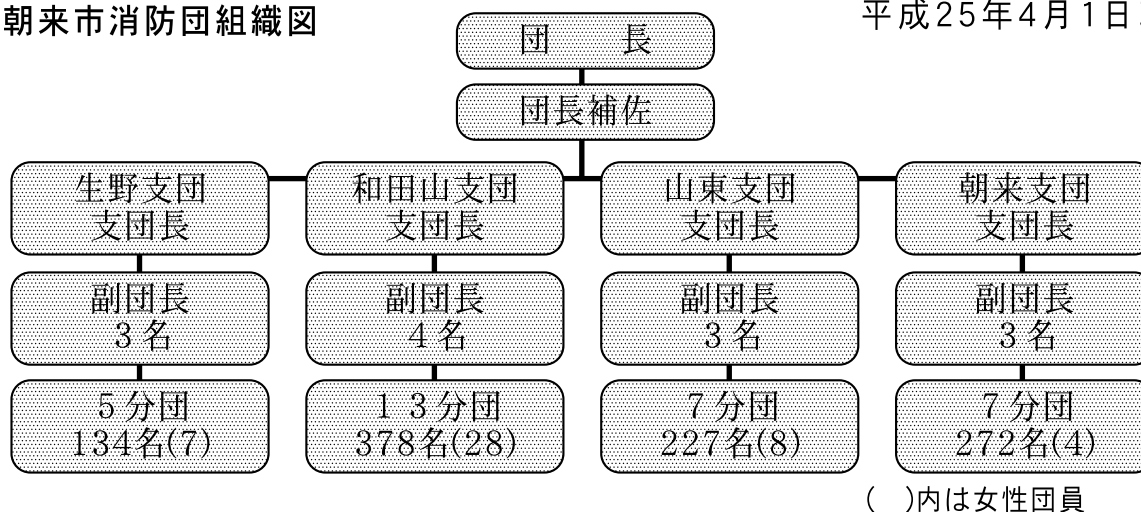
1 消防団の現勢

朝来市消防団は、平成17年4月の朝来市発足と同時に旧町消防団を支団とし、1団4支団32分団体制により、従来からの出動体制を維持し消防、水防活動等を行っています。

現在朝来市消防団は、防災力の維持及び効率化を図るため朝来市消防団審議会の答申を受け、組織再編検討部会が開かれています。今後も市民の信頼に応え、地域住民からも愛され親しまれる朝来市にふさわしい消防団の実現を目指し、その編成及び機械装備等のあり方について検討が進められています。

朝来市消防団組織図

平成25年4月1日現在



2 消防団の活動

平成24年中の火災件数19件のうち、消防団が出動した火災は6件で、これらの火災に出動した車両は延べ74台、出動人員は延べ752人です。これを火災1件当たりでみると、車両12.3台、団員125.3人が出動したことになります。

3 訓練・研修の実施

消防団は災害時にいかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に消防活動ができるように、消防署との実戦的な合同訓練や研修を意欲的に取り組んでいます。

また、平成24年6月17日に朝来市羽瀨国道312号線チェーン脱着場で、第3回朝来市消防団消防ポンプ操法大会が開催され、ポンプ車操法の部14チーム、小型ポンプ操法の部16チームが参加しました。優勝チームは、ポンプ車の部が生野支団第1分団、小型ポンプの部が和田山支団第10分団でした。小型ポンプの部で優勝した和田山支団第10分団は、朝来市代表として、県大会に出場しました。

資 料 編

表番号	頁	表番号	頁
《庶 務》			
1. 平成24年度中の主要行事……………	20	27. 覚知から現場到着までの所要時間状況…	39
2. 平成24年度予算状況……………	21	28. 覚知から医療機関収容までの所要時間状況…	40
3. 職員給与費等の実態……………	22	29. 救急処置の実施状況……………	40
4. 階級別勤続年数……………	23	30. CPAの状況及び救命士活動状況…	41
5. 階級別職員構成……………	23	31. CPAの収容状況及び救命状況……………	42
6. 消防本部現勢一覧……………	24	32. 不搬送状況……………	42
7. 研修派遣状況……………	25	33. ドクターヘリドクターカー月別要請件数……………	43
8. 階級別資格取得状況……………	26	34. 普通救命講習会実施状況……………	43
9. 職員体力測定結果……………	26	《救 助》	
10. 平成23年度一般会計決算の概要…	27	35. 年次・地域・月別救助出動状況……………	44
《火 災》		36. 年次別活動件数及び救助人員状況…	45
11. 年次・地域・月別火災発生状況…	28	37. 事故種別発生場所別出動状況……………	45
12. 出火時間・曜日別発生状況……………	30	《気象・通信、装備》	
13. 用途別建物火災の発生状況……………	31	38. 気象観測状況……………	46
14. 覚知方法別出火件数……………	31	39. 気象情報等の発令日数・回数……………	47
15. 出火原因状況……………	32	40. 消防用資器材の状況……………	48
16. 建物火災の初期消火の状況……………	33	《消防団》	
17. 初期消火で使用した器具……………	33	41. 消防団研修訓練状況……………	49
18. 建物火災発見者別状況……………	34	《予 防》	
19. 覚知から現場到着までの所要時間…	34	42. 防火対象物の概要……………	50
20. 放水開始から鎮火までの所要時間…	34	43. 消防用設備設置状況……………	52
21. 気象別火災発生状況……………	35	44. 確認申請処理状況……………	53
22. 使用した消防水利……………	35	45. 消防教室実施状況……………	53
《救 急》		46. 危険物施設数及び立入検査回数…	54
23. 年次・地域・月別救急出場件数…	36	47. 設置許可数及び変更許可の状況…	54
24. 曜日・時間別救急出場件数……………	37	48. 数量・類別危険物施設数……………	55
25. 年齢・程度・男女別・居住区分別搬送人員…	38	《その他》	
26. 収容医療機関別搬送人員……………	39	49. 消防相互応援協定の締結状況……………	56

1. 平成24年度中の主要行事

月	日	内 容
4月	1日	山火事防止月間(4/1～4/30)
4月	1日	朝来市消防大会(於：ジュピターホール)
4月	5日	兵庫県消防学校「初任科」2名入校(～9/27)
4月	18日	朝来市新任職員研修(於：朝来市消防本部)
4月	22日	消防ふれあい祭り(於：イオン和田山ショッピングセンター駐車場)
5月	1日	救助隊特別訓練(～8/5)
5月	24日	甲種防火管理新規講習(～5/25 於：朝来市消防本部)
5月	28日	消防学校初任科教育指導講師派遣(～6/1 於：兵庫県消防学校)
6月	3日	危険物安全週間(～6/9)
6月	4日	トライやる・ウィーク(～6/8 生野中学校2名、和田山中学校5名、朝来中学校3名)
6月	12日	消防大学校「幹部科」入校(～7/27)
6月	17日	朝来市消防ポンプ操法大会
6月	18日	但馬地区救助合同訓練(於：朝来市消防本部)
7月	14日	第41回消防救助技術近畿地区指導会(於：大阪市消防学校)
8月	7日	第41回全国消防救助技術大会(於：東京都)
8月	22日	消防広域化協定書調印式
8月	28日	消防学校初任科教育救助訓練講師派遣(～8/30 於：兵庫県消防学校)
9月	3日	兵庫県救急救命士養成所入校(～3月下旬)
9月	20日	防火ポスター審査会(於：朝来市消防本部)
9月	27日	兵庫県消防学校初任科教育卒業式
9月	28日	播但連絡自動車道路消防訓練
10月	1日	救助訓練強化月間(10/1～10/31、11/1 救助総合訓練査閲)
10月	3日	兵庫県消防学校「救助科」入校(～11/1)
10月	10日	兵庫県消防防災航空隊合同訓練(於：竹田城跡、枚田河川敷)
10月	17日	伯耆トンネル列車火災事故対処合同訓練(於：生野町)
10月	27日	緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練(～10/28 於：神戸市)
11月	1日	救急訓練強化月間(11/1～11/30、12/4救急総合訓練査閲)
11月	2日	北近畿豊岡自動車道路消防合同訓練
11月	6日	朝来市消防本部職員意見発表会
11月	8日	兵庫県消防学校「警防科」入校(～11/21)
11月	9日	秋季全国火災予防運動(11/9～11/15)、和田山支団夜間消防合同訓練、一日消防官
11月	10日	DMA T隊員養成研修CSM訓練講師派遣(於：兵庫県広域防災センター)
11月	13日	旅館・ホテル防火研修会(於：朝来市消防本部)
11月	14日	兵庫県消防学校「中級幹部科」入校(～11/22)
11月	28日	兵庫県消防学校「特殊災害科」入校(～12/11)
12月	1日	消防訓練強化期間(12/1～12/15)
12月	11日	航空機連携講習会(～12/12 於：兵庫県広域防災センター・神戸ヘリポート)
12月	15日	年末年始特別警戒(前期12/15～12/24 後期12/25～1/3)
1月	8日	兵庫県消防学校「火災調査科」入校(～1/22)
1月	9日	平成25年消防本部訓練始め(於：朝来市消防本部)
1月	23日	播但地区消防職員意見発表会(於：姫路市)
1月	24日	兵庫県消防学校「救急科」入校(～3/19)
1月	26日	文化財防火デー(1/27 和田山支団他合同訓練 於：赤淵神社)
2月	1日	兵庫県下調査担当者会議(於：三木市)
2月	8日	兵庫県下警防担当者会議(於：丹波市)
2月	19日	兵庫県消防学校「山岳救助技術研修」(～2/21)
3月	1日	春季全国火災予防運動(3/1～3/7)
3月	4日	神戸市消防学校「警防指揮課程」入校(～3/8)
3月	8日	但馬地区救助技術研究会(於：美方広域消防本部)
3月	17日	林野火災想定合同訓練(於：朝来市山内)

2. 平成24年度予算状況

(単位：千円)

性 質 別 等		当 初 予 算 額	補 正 予 算 額 (流用等含む)	現 計 予 算 額	比 率 (%)
歳 入	総 計	652,345	2,925	655,270	100.0
	一 般 財 源	546,380	2,925	549,305	83.8
	特 別 分 担 金	92,065	—	92,065	14.0
	使用料・手数料	650	—	650	0.1
	国 県 支 出 金	12,693	—	12,693	1.9
	財 産 収 入	31	—	31	0.1
	繰 入 金	—	—	—	—
	繰 越 金	—	—	—	—
	地 方 債	—	—	—	—
	諸 収 入 他	526	—	526	0.1
歳 出	総 計	652,345	2,925	655,270	100.0
	人 件 費	443,922	2,925	446,847	68.2
	物 件 費	76,905	—	76,905	11.7
	建 設 事 業 費	123,213	—	123,213	18.8
	維 持 補 修 費	1,772	—	1,772	0.3
	補 助 費 等	6,533	—	6,533	1.0
	公 債 費	—	—	—	—

《参考》住民一人当り消防費負担額

(単位：千円)

年 度 別	予 算 額			決 算 額	住 民 基 本 台 帳 人 口	住 民 一 人 当 り 負 担 額
	当初予算額	補 正 等	合 計			
平成21年度	476,136	49,478	525,614	518,730	34,336	15,308円
平成22年度	490,857	9,113	499,970	484,391	33,969	14,718円
平成23年度	423,772	88,572	512,344	507,505	33,574	15,260円
平成24年度	652,345	2,925	655,270	—	33,252	19,706円

3. 職員給与費等の実態

(単位：千円)

費目				平成24年度			
				当初額	該当職員	一人当り金額	
総計				443,921	—	—	
職員給与と 費用	合計			330,641	—	—	
	給料			201,745	51	3,348	
	職員手当	合計			128,896	—	—
		扶養手当			10,440	38	274
		子ども手当			5,200	23	226
		住居手当			864	31	28
		通勤手当			4,673	50	93
		期末手当			48,351	51	948
		勤勉手当			23,976	51	470
		夜間勤務手当			2,506	33	76
		時間外勤務手当			6,287	34	185
		休日勤務手当			11,169	33	338
		特殊勤務手当			5,687	51	116
		管理職手当			8,180	16	511
		管理職員特別勤務手当			1,213	16	76
宿日直手当			350	50	7		
共済費	合計			67,361	—	—	
	共済組合負担金			66,823	51	1,310	
	公務災害負担金			538	51	11	
負担金	合計			45,919	—	—	
	退手組合負担金			45,515	51	893	
	互助会負担金			404	51	8	
給与改定分				—	—	—	

4. 階級別勤続年数

(H25.3.31現在)

年 数	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	51	1	16	21	7	1	5
3 年 未 満	4	—	—	—	—	1	3
3年以上5年未満	4	—	—	—	2	—	2
5 " 7 "	1	—	—	—	1	—	—
7 " 10 "	1	—	—	1	—	—	—
10 " 15 "	4	—	—	2	2	—	—
15 " 20 "	8	—	—	8	—	—	—
20 " 25 "	6	—	—	6	—	—	—
25 年 以 上	23	1	16	4	2	—	—

5. 階級別職員構成

(H25.3.31現在)

年 齢 区 分	総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
総 数	51	1	16	21	7	1	5
20 歳 未 満	—	—	—	—	—	—	—
20歳以上25歳未満	4	—	—	—	—	—	4
25 " 30 "	4	—	—	—	2	1	1
30 " 35 "	3	—	—	1	2	—	—
35 " 40 "	7	—	—	6	1	—	—
40 " 45 "	6	—	—	6	—	—	—
45 " 50 "	6	—	—	6	—	—	—
50 歳 以 上	21	1	16	2	2	—	—

6. 消防本部現勢一覧

(H25.3.31現在)

項 目	基準数 (A)	現有数 (B)	不足数 (A) - (B)	充足率 (%)
人 員 (人)				
総 数	70	51	19	72.9
消 防 隊 員 { 本 署 出 張 所 }	21	21	0	100.0
救 急 隊 員 { 本 署 出 張 所 }	18	18	0	100.0
救 助 隊 員 { 本 署 出 張 所 }	15	0(15)	15	0
通 信 員	6	4	2	66.7
予 防 要 員	5	3(2)	2	60.0
庶 務 等 そ の 他 の 職 員	5	5	0	100.0
車 両 等 (台)				
総 数	11	10	1	90.9
ポ ン プ 車 { 本 署 出 張 所 }	3	3	0	100.0
化 学 消 防 車	1	—	1	—
は し ご 消 防 車	1	1	0	100.0
救 急 車 { 本 署 出 張 所 }	3	3	0	100.0
救 助 工 作 車	1	1	0	100.0
指 揮 車	2	2	0	100.0
参 考 (台)				
広 報 車	—	1	—	—
可 搬 ポ ン プ { 本 署 出 張 所 }	—	2	—	—

- (注) 1. 基準人員数は、消防力の整備指針（平成12年1月20日、消防長告示第1号）による。
2. () 内数字は、兼務職員数を表す。
3. その他の職員は、消防長、次長、課長及び庶務要員を表す。
4. 可搬ポンプは、C—1級を含む。

7. 研修派遣状況

(単位：人)

研 修 科 目	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
総 数	11	13	14	12	12	16
《消防大学校》	—	—	—	1	1	1
幹 部 科	—	—	—	1	1	1
本 科	—	—	—	—	—	—
予 防 科	—	—	—	—	—	—
警 防 科	—	—	—	—	—	—
救 急 科	—	—	—	—	—	—
救 助 科	—	—	—	—	—	—
《兵庫県消防学校》	8	10	11	8	8	12
初 任 教 育	—	2	2	1	1	2
中 級 幹 部 科	—	1	—	1	—	1
初 級 幹 部 科	1	—	—	—	1	—
救 急 科	—	2	2	1	1	1
救急救命士追加講習 (ビデオ硬性挿管用喉頭鏡)	1	1	—	—	—	3
火 災 調 査 科	1	1	1	1	1	1
予 防 査 察 科	—	—	1	—	—	1
危 険 物 科	—	—	1	—	—	—
救 助 科	1	1	1	1	1	1
警 防 科	—	—	—	1	—	1
は し ご 自 動 車 科	2	—	1	—	1	—
惨 事 ス ト レ ス 科	1	1	1	1	1	1
特 殊 災 害 科	1	1	1	1	1	1
《神戸市消防学校》	1	—	—	—	—	1
警 防 指 揮 課 程	—	—	—	—	—	1
気 管 挿 管 追 加 講 習	—	—	—	—	—	—
薬 剤 投 与 追 加 講 習	1	—	—	—	—	—
《兵庫県自治研修所》	2	2	2	2	2	1
《救急救命士養成所》	—	1	1	1	1	1
救 命 士 養 成 課 程	—	1	1	1	1	1

8. 階級別資格取得状況

(H25.3.31現在)

資 格 名		総 数	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
自動車	大 型 一 種	33	—	6	19	5	1	2
	普 通 一 種	51	1	16	21	7	1	5
危険物	甲 種	2	1	1	—	—	—	—
	乙 種	40	—	14	19	5	—	2
	丙 種	8	—	1	7	—	—	—
設備士	甲 種	2	1	1	—	—	—	—
	乙 種	11	3	5	3	—	—	—
特 殊 無 線 乙		51	1	16	21	7	1	5
救 急 救 命 士 資 格		18	—	6	9	3	—	—
気 管 挿 管 認 定		11	—	1	8	2	—	—
薬 剤 投 与 認 定		13	—	1	9	3	—	—
ビデオ硬性挿管用喉頭鏡認定		3	—	—	3	—	—	—
救急隊員資格 (250H)		29	—	7	13	4	1	4
救急隊員資格 (135H)		4	1	3	—	—	—	—
応急手当指導員資格		47	—	13	21	7	1	5
救助隊員資格 (1号)		23	—	5	13	4	1	—
衛生管理者資格		1	—	—	1	—	—	—
安全衛生推進者資格		2	—	2	—	—	—	—
予防技術資格者		8	1	4	3	—	—	—

9. 職員体力測定結果

(各種目の平均)

年 度	立 体 前 屈	立三段跳	反復横跳び (20秒)	1500m走 (分：秒)	握 力	上体起こし (30秒)	け ん 垂
	cm	m	回	秒	kg	回	回
20年度	12.6	6.67	48.4	6：38	49.4	29.0	12.5
21年度	12.1	6.69	50.2	6：44	49.1	29.2	13.2
22年度	12.9	6.68	49.7	6：45	51.8	29.2	13.4
23年度	13.3	6.75	50.0	6：47	50.8	28.8	12.8
24年度	12.7	6.61	49.2	6：53	50.5	28.7	12.9

10. 平成23年度一般会計決算の概要

(1) 歳入

(単位：千円)

科 目	予 算 額 (A)	収入済額 (B)	比 較 (B - A)
歳 入 合 計	5 1 2,3 4 4	5 0 7,5 0 5	△ 4,8 3 9
一 般 財 源	5 0 7,0 6 8	5 0 1,8 8 7	△ 5,1 8 1
使 用 料 ・ 手 数 料	6 5 0	8 3 6	1 8 6
国 県 支 出 金	3,7 3 9	3,7 5 8	1 9
財 産 収 入	3 1	1 7 2	1 4 1
負 担 金	3 3 0	3 2 1	△ 9
寄 付 金	—	—	—
繰 入 金	—	—	—
繰 越 金	—	—	—
諸 収 入	5 2 6	5 3 1	5
地 方 債	—	—	—

(2) 歳出

(単位：千円)

科 目	予 算 額 (A)	支出済額 (B)	比 較 (A - B)
歳 出 合 計	5 1 2,3 4 4	5 0 7,5 0 5	4,8 3 9
小 計	5 1 2,3 4 4	5 0 7,5 0 5	4,8 3 9
消 常 備 消 防 費	4 8 8,1 3 5	4 8 5,5 1 8	2,6 1 7
防 消 防 施 設 費	2 3,2 0 5	2 0,9 8 3	2,2 2 2
費 災 害 情 報 費	6 1 4	6 1 4	0
衛 星 通 信 費	3 9 0	3 9 0	0
公 債 費	—	—	—
積 立 金	—	—	—
予 備 費	—	—	—

11. 年次・地域・月別火災発生状況

年次別 地域別 月別	出火件数					焼損棟数					焼損面積		死者数	
	総 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他	総 数	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物 (㎡)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者
2 0 年	15	8	2	—	5	8	2	2	3	1	372	5	1	4
2 1 年	11	9	—	1	1	10	2	3	3	2	941	—	1	—
2 2 年	18	11	—	3	4	17	6	1	2	8	1,311	—	1	—
2 3 年	16	7	3	2	4	8	2	1	2	3	532	4	—	1
2 4 年	19	12	2	1	4	15	3	2	4	6	754	3	1	3
《 地 域														
生 野	1	1	—	—	—	1	—	—	1	—	2	—	—	—
和 田 山	8	4	1	1	2	6	1	2	1	2	668	1	1	1
山 東	4	4	—	—	—	4	1	—	1	2	77	—	—	1
朝 来	6	3	1	—	2	4	1	—	1	2	7	2	—	1
《 月														
1 月	2	2	—	—	—	2	—	1	1	—	427	—	—	1
2 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3 月	4	4	—	—	—	4	1	—	1	2	37	—	—	—
4 月	4	3	—	—	1	4	—	1	—	3	57	—	—	1
5 月	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
6 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 月	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—
8 月	4	2	—	—	2	3	1	—	1	1	7	—	—	—
9 月	2	1	—	—	1	2	1	—	1	—	226	—	—	1
1 0 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1 1 月	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
1 2 月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

り 災 人 員	り 災 世 帯				損 害 額 (千円)						
	総 数	全 損	半 損	小 損	総 数	建 物			林 野	車 両	そ の 他
						小 計	建 築 物	収 容 物 等			
17	5	1	1	3	24,184	24,070	20,599	3,471	0	—	114
11	3	—	1	2	49,149	49,020	26,574	22,446	—	129	0
29	10	4	1	5	48,818	48,238	35,849	12,389	—	535	45
19	7	1	1	5	59,316	59,252	37,035	22,217	0	63	1
23	8	1	1	6	70,172	70,128	19,630	50,498	0	37	7
別 》											
3	1	—	—	1	276	276	182	94	—	—	—
14	5	1	1	3	22,071	22,030	18,738	3,292	0	37	4
3	1	—	—	1	47,359	47,359	354	47,005	—	—	—
3	1	—	—	1	466	463	356	107	0	—	3
別 》											
3	1	—	—	1	5,238	5,238	4,073	1,165	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	2	—	—	2	482	482	301	181	—	—	—
8	2	—	1	1	15,021	15,018	9,802	5,216	—	—	3
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	0	—	—
3	1	—	—	1	42,408	42,408	356	42,052	—	—	0
4	2	1	—	1	6,986	6,372	5,098	1,884	—	—	4
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	37	—	—	—	—	37	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

12. 出火時間・曜日別発生状況

時 間 別 曜 日 別	出 火 件 数					焼 損 棟 数					焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
	総 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他	総 数	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物 (㎡)	林 野 (a)	
総 数	19	12	2	1	4	15	3	2	4	6	754	3	70,172
《 時 間 別 》													
0 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1 時	1	1	—	—	—	1	—	1	—	—	385	—	4,723
2 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
8 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
9 時	1	1	—	—	—	1	—	—	1	—	42	—	515
1 0 時	6	3	1	—	2	5	2	—	2	1	233	1	12,223
1 1 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1 2 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1 3 時	1	1	—	—	—	1	—	—	—	1	0	—	0
1 4 時	3	3	—	—	—	3	—	—	1	2	2	—	42,225
1 5 時	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	4
1 6 時	2	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	2	0
1 7 時	1	1	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	84
1 8 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1 9 時	2	2	—	—	—	3	1	1	—	1	92	—	10,361
2 0 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 1 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 2 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2 3 時	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
不 明	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	37
《 曜 日 別 》													
日 曜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
月 曜	3	2	—	—	1	2	—	—	1	1	42	—	520
火 曜	4	3	1	—	—	4	—	2	—	2	442	2	19,741
水 曜	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	0
木 曜	2	1	—	—	1	1	—	—	1	—	2	—	276
金 曜	6	5	—	1	—	6	2	—	1	3	261	—	49,170
土 曜	3	1	—	—	2	2	1	—	1	—	7	—	465

13. 用途別建物火災の発生状況

用 途	出 火 件 数					平 成 24 年		
	総 数 (19～24年)	平 成 20年	平 成 21年	平 成 22年	平 成 23年	出 火 件 数	焼損面積 (㎡)	損 害 額 (千円)
総 数	47	8	9	11	7	12	754	70,128
住 宅	24	5	3	6	4	6	334	18,559
遊 戯 場	—	—	—	—	—	—	—	—
飲 食 店	—	—	—	—	—	—	—	—
店 舗	—	—	—	—	—	—	—	—
旅館・ホテル	—	—	—	—	—	—	—	—
病院・福祉施設	1	—	—	—	—	1	—	2
学 校	—	—	—	—	—	—	—	—
神 社・寺 院	1	—	—	1	—	—	—	—
工 場・作 業 場	13	1	4	3	2	3	—	46,724
倉 庫	2	—	—	—	—	2	420	4,843
車 庫	1	—	1	—	—	—	—	—
養鶏舎・養畜舎	1	1	—	—	—	—	—	—
事務所・官公署	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	4	1	1	1	1	—	—	—

(注) 共同住宅及び専用住宅に従属する納屋等からの出火の場合は住宅に含む。
また、居住併用建築物において居住部分からの出火の場合は住宅に含む。

14. 覚知方法別出火件数

覚 知 方 法	総 数 (%)	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	その他の火災
総 数	19 (100)	12	2	1	4
119番	15 (79)	10	2	—	3
(内、携帯電話)	(9) (47)	(5)	(1)	—	(3)
加入電話	1 (5)	1	—	—	—
(内、携帯電話)	(1) (5)	(1)	—	—	—
駆けつけ	— (—)	—	—	—	—
事後聞知	3 (16)	1	—	1	1
そ の 他	— (—)	—	—	—	—

15. 出 火 原 因 状 況

用 途		出 火 件 数					焼 損 棟 数	り 災 世 帯 数	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
		総 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他			建 物 (㎡)	林 野 (a)	
総 数		19	12	2	1	4	15	8	754	3	70,172
裸 火	タ バ コ	1	—	—	—	1	—	—	—	—	0
	マ ッ チ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ラ イ タ ー	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	焼 却 火	2	—	1	—	1	—	—	—	1	0
	火 入 れ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ ー ソ ク	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
人 的	火 あ そ び	1	—	1	—	—	—	—	—	2	0
	放 火	2	1	—	1	—	1	1	2	—	313
	放火の疑い	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石 油 ・ ガ ス 類	ス ト ー ブ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	こ ん ろ	1	1	—	—	—	2	2	57	—	10,241
	風 呂 か ま ど	1	1	—	—	—	1	1	0	—	84
	石 油 機 器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ガ ス 機 器	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	内 燃 機 関	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
電 気 関 係	ス ト ー ブ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	こ ん ろ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	こ た つ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	静 電 気	1	1	—	—	—	1	—	0	—	41,947
	配 線 等	2	2	—	—	—	2	1	42	—	517
固 形 燃 料	こ ん ろ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	か ま ど	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	こ た つ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
焼 却 炉		2	2	—	—	—	3	1	42	—	581
取 灰		2	1	—	—	1	1	—	0	—	4
生 地 仕 上 機		1	1	—	—	—	1	—	0	—	4,777
草 焼 き バ ー ナ ー		1	—	—	—	1	—	—	—	—	3
車 両	交 通 事 故	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	排 気 管	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
他	不 明	2	2	—	—	—	3	2	611	—	11,705
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

16. 建物火災の初期消火の状況

初 期 消 火 の 状 況			建 物 火 災 件 数	焼 損 棟 数					焼損面積(m ²)		損 害 額 (千円)	
				総 数	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	総 数	一 件 当 り	総 数	一 件 当 り
総 数			12	15	3	2	4	6	754	63	70,128	5,844
初 期 消 火 し た 数			11	14	3	1	4	6	369	34	65,405	5,946
効 果 理 由	有 効		5	6	1	—	2	3	49	10	5,839	1,168
	無 効		6	8	2	1	2	3	320	53	59,566	9,928
	無効 の 理 由	広く燃えており消火できなかった	4	6	2	1	2	1	320	80	17,619	4,405
		通報するため消火が遅れた	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		消火設備の管理不良	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		消火設備の操作が不適切	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		そ の 他	2	2	—	—	—	2	0	—	41,947	20,974
初期消火しなかった数			1	1	—	1	—	—	385	385	4,723	4,723
内 訳	延焼拡大し消火不能		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	自 然 鎮 火 し て い た		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	あわてて消火できなかった		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	消 火 器 具 が な か っ た		1	1	—	1	—	—	385	385	4,723	4,723
	消火器具の位置を知らなかった		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	消火器具の使用方法を知らなかった		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	そ の 他		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

17. 初期消火で使用した器具

区 分	総 数	水道水	水バケツ	消火器	公 設 消火栓	屋 内 消火栓等	そ の 他	24年中の 火災件数
総 数	15	1	2	7	3	—	2	19
建 物	11	—	2	6	3	—	—	12
林 野	—	—	—	—	—	—	—	2
車 両	—	—	—	—	—	—	—	1
その他	4	1	—	1	—	—	2	4

18. 建物火災発見者別状況

発見者	建物火災件数	発見の媒体							発見後の行動				
		熱気	炎	音	煙	臭気	取扱中	その他	消火	通報	避難	他の者へ連絡	その他
総数	12	—	3	1	6	—	2	—	4	4	—	2	2
火気取扱者	1	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—
行為者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
火気関係者	3	—	1	—	1	—	1	—	1	1	—	1	—
火元家人	3	—	—	1	1	—	1	—	1	—	—	—	2
火元関係者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
隣人	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
付近住民	1	—	—	—	1	—	—	—	1	—	—	—	—
その他	4	—	1	—	3	—	—	—	—	3	—	1	—

19. 覚知(入電)から現場到着までの所要時間

地域別	総数	4分以内	5分～7分	8分～10分	11分～13分	14分以上	平均(分)
総数	16	—	3	6	5	2	10.9
生野	1	—	1	—	—	—	7.0
和田山	7	—	2	4	1	—	8.7
山東	3	—	—	1	2	—	11.6
朝来	5	—	—	1	2	2	14.4

(注) 事後聞知の3件(和田山1件、山東1件、朝来1件)は含まず。

20. 放水開始から鎮火までの所要時間

火災種別	総数	5分以内	6分～10分	11分～20分	21分～30分	31分～40分	41分～50分	51分～60分	61分以上
総数	12	3	2	3	2	1	—	—	1
建物	8	2	—	2	2	1	—	—	1
林野	2	—	1	1	—	—	—	—	—
車両	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	2	1	1	—	—	—	—	—	—

(注) 消防隊が現場到着時鎮火状態の火災4件と事後聞知3件については放水していないため含まず。

21. 気象別火災発生状況

気 象 別	出 火 件 数					焼 損 棟 数	り 災 世 帯 数	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)
	総 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他			建 物 (㎡)	林 野 (a)	
総 数	18	12	2	0	4	15	8	754	3	70,135
	《 風 速 別 》									
無 風	6	4	—	—	2	4	1	462	—	5,364
1 m ～ 2 m	6	4	1	—	1	6	3	233	1	49,393
3 m ～ 4 m	6	4	1	—	1	5	4	59	2	15,378
5 m 以 上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	《 天 候 別 》									
晴	11	6	2	—	3	9	5	290	3	64,411
く も り	5	4	—	—	1	4	3	44	—	881
雨 又 は 雪	2	2	—	—	—	2	—	—	—	4,843
	《 湿 度 別 》									
30% 未 満	1	1	—	—	—	1	1	2	—	276
30%以上50%未満	7	3	2	—	2	4	2	7	3	548
50%以上70%未満	3	2	—	—	1	3	2	226	—	48,929
70% 以 上	7	6	—	—	1	7	3	519	—	20,382
	《 注 意 報・警 報 別 》									
乾 燥 注 意 報	3	1	1	—	1	2	1	7	1	461
強 風 注 意 報	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の注意報	11	8	1	—	2	8	3	464	2	47,670
発 令 な し	4	3	—	—	1	5	4	283	—	22,004

(注) 事後聞知の車両火災1件は、出火時間が不明なため含まず。

22. 使用した消防水利

消 防 水 利	平 成 20 年	平 成 21 年	平 成 22 年	平 成 23 年	平 成 24 年				
					総 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他
総 数	9	8	12	11	12	8	2	—	2
自 然 水 利	—	1	3	2	3	2	1	—	—
防 火 水 槽	—	—	1	—	—	—	—	—	—
消 火 栓	4	2	—	2	3	3	—	—	—
積 載 水 等	5	5	8	7	6	3	1	—	2

(注) 消防隊が現場到着時鎮火状態の火災4件と事後聞知3件については放水していないため含まず。

23. 年次・地域・月別救急出場件数

年次別 地域別 月別	総 数	火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	転 院	そ の 他
20 年	1,282	2	—	—	145	21	7	228	2	19	740	110	8
21 年	1,240	—	1	3	129	14	4	213	7	17	738	111	3
22 年	1,283	—	1	2	152	14	9	216	7	18	742	109	13
23 年	1,457	1	—	—	167	16	9	238	4	13	845	140	24
24 年	1,481	1	—	—	143	19	7	254	7	15	903	111	21
《 地 域 別 》													
生 野	190	—	—	—	11	2	2	39	—	4	123	6	3
和 田 山	814	—	—	—	94	12	4	131	4	6	477	75	11
山 東	227	—	—	—	19	2	—	50	3	4	141	5	3
朝 来	249	1	—	—	18	3	1	34	—	1	162	25	4
管 外	1	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
《 月 別 》													
1 月	129	—	—	—	11	1	—	23	—	2	81	9	2
2 月	122	—	—	—	15	1	—	24	—	—	75	6	1
3 月	135	—	—	—	10	1	1	17	—	1	91	11	3
4 月	115	1	—	—	14	3	—	19	—	3	63	11	1
5 月	124	—	—	—	11	1	—	23	1	4	73	9	2
6 月	90	—	—	—	9	4	3	12	—	2	55	3	2
7 月	117	—	—	—	10	1	1	13	3	—	81	7	1
8 月	144	—	—	—	15	1	1	25	3	1	85	13	—
9 月	125	—	—	—	10	1	1	28	—	—	73	10	2
10 月	129	—	—	—	14	2	—	22	—	1	75	12	3
11 月	118	—	—	—	13	1	—	23	—	—	68	12	1
12 月	133	—	—	—	11	2	—	25	—	1	83	8	3

24. 曜日・時間別救急出場件数

曜 日 別 時 間 別	総 数	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院	そ の 他
総 数	1,481	1	—	—	143	19	7	254	7	15	903	111	21
《 曜 日 別 》													
日 曜	224	1	—	—	22	6	1	35	—	3	135	19	2
月 曜	170	—	—	—	16	2	—	26	—	3	103	14	6
火 曜	206	—	—	—	20	2	—	28	1	2	131	22	—
水 曜	187	—	—	—	25	3	—	40	1	1	99	18	—
木 曜	232	—	—	—	15	5	1	42	2	2	144	19	2
金 曜	220	—	—	—	22	1	1	34	3	2	141	13	3
土 曜	242	—	—	—	23	—	4	49	—	2	150	6	8
《 時 間 別 》													
0 時	32	—	—	—	—	—	—	5	—	1	26	—	—
1 時	31	—	—	—	1	—	—	1	2	—	27	—	—
2 時	18	—	—	—	1	—	—	5	—	—	12	—	—
3 時	27	—	—	—	—	—	—	2	3	—	21	—	1
4 時	15	—	—	—	—	—	—	2	—	—	13	—	—
5 時	19	—	—	—	3	—	—	1	—	—	15	—	—
6 時	35	—	—	—	3	—	—	6	—	—	26	—	—
7 時	50	—	—	—	5	—	—	10	—	—	35	—	—
8 時	86	—	—	—	9	1	—	14	—	—	55	4	3
9 時	94	—	—	—	8	4	1	19	—	4	43	14	1
10 時	94	1	—	—	8	1	1	18	—	1	43	19	2
11 時	101	—	—	—	11	1	1	11	—	1	54	18	4
12 時	91	—	—	—	7	2	—	19	—	1	45	16	1
13 時	100	—	—	—	10	1	1	10	—	3	60	11	4
14 時	93	—	—	—	9	2	1	21	—	—	59	—	1
15 時	71	—	—	—	10	3	—	12	—	—	37	7	2
16 時	69	—	—	—	15	1	1	13	—	—	33	6	—
17 時	86	—	—	—	10	1	1	20	—	1	45	8	—
18 時	85	—	—	—	14	—	—	21	—	—	46	3	1
19 時	84	—	—	—	5	—	—	14	—	—	62	3	—
20 時	61	—	—	—	3	—	—	7	—	1	49	1	—
21 時	49	—	—	—	3	1	—	11	1	—	33	—	—
22 時	51	—	—	—	5	1	—	4	1	—	38	—	1
23 時	39	—	—	—	3	—	—	8	—	2	26	—	—

25. 年齢・程度・男女別及び居住区分別搬送人員

年 齢 別 程 度 別 男 女 別 居住区分別	総 数	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院	そ の 他
総 数	1,354	1	—	—	144	17	7	237	5	5	827	111	—
《 年 齢 別 》													
新 生 児 (0日～28日未満)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
乳 幼 児 (28日～7歳未満)	68	—	—	—	4	—	—	17	—	—	45	2	—
少 年 (7歳～18歳未満)	52	—	—	—	13	—	3	6	1	1	24	4	—
成 人 (18歳～65歳未満)	400	—	—	—	92	16	4	45	4	—	217	22	—
高 齢 者 (65歳以上)	834	1	—	—	35	1	—	169	—	4	541	83	—
《 程 度 別 》													
死 亡	55	—	—	—	1	1	—	7	—	1	42	3	—
重 症	150	—	—	—	8	2	—	49	—	—	76	15	—
中 等 症	494	1	—	—	27	6	—	72	—	—	318	70	—
軽 症	654	—	—	—	108	8	6	109	5	4	391	23	—
程度なし	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
《 男 女 別 》													
男 性	750	1	—	—	71	15	6	124	2	1	460	70	—
女 性	604	—	—	—	73	2	1	113	3	4	367	41	—
《 居 住 区 分 別 》													
管 内	1,149	1	—	—	85	9	2	214	5	5	744	84	—
管 外	205	—	—	—	59	8	5	23	—	—	83	27	—

26. 収容医療機関別搬送人員

医 療 機 関			総 数	交 通 事 故	一 般 負 傷	急 病	転 院	そ の 他
総 数			1,354	144	237	827	111	35
管内	計		267 (19.7%)	24	67	157	14	5
	病院	和田山医療一 和セシタ	241	24	64	145	4	4
		梁瀬医療一 セシタ	17	—	1	6	10	—
		大植病院	1	—	—	1	—	—
	診療所等		8	—	2	5	—	1
管外	計		1,087 (80.3%)	120	170	670	97	30
	病院	八鹿病院	481	37	43	347	50	4
		豊岡病院 (内ドクターヘリ搬送)	407 (149)	55 (25)	78 (21)	214 (83)	37 (8)	23 (12)
		神崎総合病院	129	24	32	69	3	1
		そ の 他	52	1	9	33	7	2
	診療所等		18	3	8	7	—	—

27. 覚知から現場到着までの所要時間状況

事 故 種 別	総 数	3 分未満	3 分以上 5 分未満	5 分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着 平均所要 時間(分)
総 数	1,481	19	81	708	600	73	9.9
急 病	903	10	46	417	385	45	10.0
交 通 事 故	143	4	6	69	56	8	10.1
一 般 負 傷	254	3	13	117	107	14	10.3
そ の 他	181	2	16	105	52	6	8.7

28. 覚知から医療機関収容までの所要時間状況

事 故 種 別	総 数	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上
総 数	1,354	1	14	164	847	315	13
急 病	827	—	6	84	539	191	7
交 通 事 故	144	—	1	29	79	31	4
一 般 負 傷	237	—	2	23	145	65	2
そ の 他	146	1	5	28	84	28	—

29. 救急処置の実施状況

事 故 種 別	総 数	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
対 象 人 数	1,349	826	141	236	146
実 施 回 数	5,694	3,451	668	962	613
止 血	29	4	4	19	2
固 定	234	11	122	80	21
被 覆	65	3	15	42	5
保 温	261	148	43	45	25
人 工 呼 吸	1	—	—	1	—
酸 素 吸 入	435	285	35	52	63
胸 骨 圧 迫	—	—	—	—	—
(内 、 自 動)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
心 肺 蘇 生	48	39	1	6	2
(内 、 自 動)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
気 道 確 保	63	52	2	7	2
(内、経鼻エアウェイ)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
(内、喉頭鏡・異物除去)	(7)	(5)	(1)	(1)	(—)
(内、食道閉鎖式エアウェイ等)	(27)	(23)	(—)	(4)	(—)
(内 、 気 管 挿 管)	(6)	(5)	(—)	(1)	(—)
在 宅 療 法	29	24	—	3	2
(在宅中心静脈栄養管理等)	(2)	(2)	(—)	(—)	(—)
(気 管 切 開 孔 等)	(12)	(10)	(—)	(2)	(—)
(そ の 他)	(18)	(15)	(—)	(1)	(2)
シ ョ ッ ク パ ン ツ	—	—	—	—	—
除 細 動	6	6	—	—	—
静 脈 路 確 保	20	14	—	5	1
薬 剤 投 与	11	10	—	1	—
血 圧 測 定	1,264	765	137	221	141
聴 診 器	439	234	77	82	46
血 中 酸 素 飽 和 度	1,297	786	138	229	144
心 電 図	895	628	61	106	100
そ の 他	597	442	33	63	59

30. C P A の状況及び救命士活動状況

区 分		総 数	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
救 急 搬 送 人 員 総 数		1,354	827	144	237	146
C P A 搬 送 人 員		49	39	1	8	1
年 齢 別 内 訳	新 生 児 (0日～28日未満)	—	—	—	—	—
	乳 幼 児 (28日～7歳未満)	—	—	—	—	—
	少 年 (7歳～18歳未満)	1	1	—	—	—
	成 人 (18歳～65歳未満)	6	5	—	1	—
	高 齢 者 (65歳以上)	42	33	1	7	1
目 撃 確 認 状 況	救 急 隊	3	2	—	1	—
	市 民 等	27	24	1	2	—
	目 撃 な し	19	13	—	5	1
住 民 等 の 応 急 処 置	計	30	25	—	5	—
	C P R	3	3	—	—	—
	人 工 呼 吸 の み	—	—	—	—	—
	胸 骨 圧 迫 の み	27	22	—	5	—
	気 道 確 保 の み	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—
現 場 到 着 所 要 時 間	3 分 未 満	1	1	—	—	—
	3 分 以 上 5 分 未 満	3	2	—	1	—
	5 分 以 上 10 分 未 満	23	17	—	5	1
	10 分 以 上 20 分 未 満	20	17	1	2	—
	20 分 以 上	2	2	—	—	—
救 命 士 処 置 内 容	計	※70	58	—	11	1
	食道閉鎖式エアウェイ	27	23	—	4	—
	静 脈 路 確 保	20	14	—	5	1
	薬 剤 投 与	11	10	—	1	—
	除 細 動	6	6	—	—	—
	気 管 挿 管	6	5	—	1	—

※49人に対して行った延べ実施数

31. C P A の収容状況及び救命状況

区 分		総 数	覚知から医療機関収容までの所要時間（分）				
			10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上
C P A 患者の搬送人員		49	—	1	5	34	9
収容医療機関	八 鹿 病 院	24	—	—	1	19	4
	和田山医療センター	10	—	1	4	4	1
	そ の 他 (ドクターヘリ含む)	15	—	—	—	11	4
救命状況	院 内 処 置 室 死 亡	39	—	1	5	26	7
	心拍又は呼吸再開後入院	5	—	—	—	5	—
	内、 7 日 後 生 存	3	—	—	—	3	—
	内、 1 ヶ 月 後 生 存	2	—	—	1	1	—

32. 不 搬 送 状 況

種 別	総 数	緊急性 な し	傷病者 な し	拒 否	酩 酊	死 亡	現 場 処 置	虚・誤報	そ の 他
総 数	143	13	3	6	2	28	56	5	30
急 病	76	7	1	2	2	16	40	—	8
交 通 事 故	14	2	2	—	—	—	5	—	5
一 般 負 傷	18	4	—	1	—	2	9	1	1
そ の 他	35	—	—	3	—	10	2	4	16

33. ドクターヘリ・ドクターカー月別要請件数

区 分	総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月
総 数	558	68	52	65	58	34	35	35	45	39	45	38	44
急 病	386	57	45	51	33	19	26	21	28	26	28	25	27
交通事故	57	2	3	6	6	5	1	5	8	5	7	4	5
一般負傷	69	3	3	6	9	9	4	7	3	6	4	6	9
転院搬送	15	1	—	—	3	—	—	—	4	—	2	3	2
そ の 他	31	5	1	2	7	1	4	2	2	2	4	—	1

34. 普通救命講習会実施状況

受 講 者	人数	実 施 日	受 講 者	人数	実 施 日
《普通救命講習Ⅰ》			朝来市教職員	64	8/6、21、23
朝来市消防団員	60	2/13、19	ヘルパー2級コース受講者	13	8/9
栃原地区住民	21	2/25	一般市民	16	8/10、12/7
但陽信用金庫職員	41	2/27、3/12、4/20	介護員養成研修受講者	20	10/23
ふれあいプール「くじら」スタッフ	15	3/7	和田山高校インターンシップ生徒	4	10/23
自主防災推進協議会員	12	3/16	高田地区住民	12	11/11
県立南但馬自然学校職員	12	5/2	山陰東教区 青壮年部 部会員	27	11/17
生野工業団地連絡協議会員	10	5/23	朝来電力システムセンター職員	10	11/20
防火管理講習会受講者	11	5/25			
生野町森林組合職員	12	5/26	《普通救命講習Ⅱ》		
いくの地域自治協議会員	23	5/26	社会福祉法人あそう職員	10	4/6
トライやるウィーク中学生	10	6/25	朝来市新人職員	4	4/18
生野中学校1年生	43	7/2			
朝来中学校1年生	63	7/9	《普通救命講習Ⅲ》		
イオン和田山従業員	22	7/18	東河こども園職員	13	7/24
ヒラキ(株)従業員	17	7/20			
受講者総数：565人（うち再講習157人）			実施回数：32回		

35. 年次・地域・月別救助出動状況

年次別 地域別 月別	総 数	火災		交通 事故	水難 事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び酸欠 事故	破裂 事故	その他の 事故
		建物	建物以外								
20年	29	—	—	21	—	—	2	—	2	—	4
21年	33	1	—	15	2	6	4	—	—	—	5
22年	38	—	—	26	2	1	—	—	—	—	9
23年	26	—	—	20	—	—	3	—	—	—	3
24年	27	—	—	13	—	—	1	—	—	—	13
《 地 域 別 》											
生野	5	—	—	2	—	—	—	—	—	—	3
和田山	12	—	—	7	—	—	1	—	—	—	4
山東	6	—	—	2	—	—	—	—	—	—	4
朝来	4	—	—	2	—	—	—	—	—	—	2
管外	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
《 月 別 》											
1月	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
2月	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—
3月	2	—	—	2	—	—	—	—	—	—	—
4月	5	—	—	2	—	—	1	—	—	—	2
5月	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
6月	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
7月	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
8月	4	—	—	3	—	—	—	—	—	—	1
9月	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
10月	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1
11月	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1
12月	3	—	—	2	—	—	—	—	—	—	1

36. 年次別活動件数及び救助人員状況

年 次 別	総 数	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
		建 物	建 物 以 外								
20 年	21	—	—	15	—	—	1	—	2	—	3
21 年	22	1	—	9	1	5	2	—	—	—	4
22 年	21	—	—	12	1	1	—	—	—	—	7
23 年	15	—	—	10	—	—	2	—	—	—	3
24 年	10	—	—	5	—	—	—	—	—	—	5
《 人 員 》											
20 年	25	—	—	17	—	—	1	—	4	—	3
21 年	58	1	—	10	1	40	2	—	—	—	4
22 年	23	—	—	14	1	1	—	—	—	—	7
23 年	16	—	—	11	—	—	2	—	—	—	3
24 年	11	—	—	6	—	—	—	—	—	—	5

37. 事故種別発生場所別出動状況

発 生 場 所		総 数	火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故
			建 物	建 物 以 外								
総 数		27	—	—	13	—	—	1	—	—	—	13
屋 内	住 居	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	その他の屋内	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
屋 外	道 路	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高速自動車国道 その他の道路	12	—	—	10	—	—	—	—	—	—	2
外	水 面	5	—	—	1	—	—	—	—	—	—	4
	内 水 面 外 水 面	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外	山 岳	4	—	—	1	—	—	—	—	—	—	3
	その他の屋外	6	—	—	1	—	—	1	—	—	—	4
地 下		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

38. 気象観測状況

区 分	年 間	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月
気 温(℃)													
平 均	13.6	1.9	1.2	5.9	12.7	16.7	20.9	25.7	27.2	23.1	15.6	8.9	3.5
最 高	36.8	11.8	11.4	19.8	31.0	28.5	31.2	36.8	35.6	33.4	25.7	19.6	14.7
最 低	-10.0	-7.2	-10.0	-3.0	-2.4	4.7	13.9	18.1	18.9	13.7	7.1	1.8	-3.6
相 対 湿 度 (%)													
平 均	74.6	83.2	80.7	75.1	65.4	67.6	71.9	74.2	67.7	75.9	75.2	79.3	78.7
最 高	93.8	93.7	93.8	93.3	93.3	92.1	91.4	91.1	91.0	91.3	93.0	93.1	93.6
最 低	10.0	27.6	30.1	67.0	10.0	18.6	30.2	34.4	31.0	35.1	31.2	32.1	26.8
実 効 湿 度 (%)													
平 均	74.4	81.4	80.8	76.7	66.3	66.6	72.1	74.1	67.4	75.3	75.3	78.9	78.4
最 高	85.7	85.7	85.3	84.1	73.6	72.7	79.8	80.4	76.0	79.4	79.3	82.4	85.7
最 低	54.9	65.5	75.7	60.7	54.9	56.6	66.3	66.6	61.6	69.3	70.3	73.6	62.0
平 均 風 速 (m/s)													
平 均	1.6	1.2	1.3	1.8	2.2	1.8	1.7	1.7	1.8	1.5	1.5	1.3	1.6
最 高	12.0	7.4	9.3	8.7	12.0	9.0	8.2	7.2	8.6	7.7	10.7	7.5	9.6
天 候													
晴	129	5	3	8	12	13	11	16	21	9	16	7	8
く も り	73	5	5	8	8	9	11	2	1	3	8	7	6
雨	129	8	8	11	10	9	8	13	9	18	7	16	12
雪	35	13	13	4	0	0	0	0	0	0	0	0	5
降 水 量 (mm)													
降 水 量	1701.5	130.0	114.5	158.5	109.0	99.0	229.5	180.5	67.0	228.5	97.0	140.0	148.0
最高/日	140.0	19.5	20.5	21.5	57.0	60.0	140.0	55.5	27.5	63.5	50.5	29.0	24.0
降 水 日	169	19	21	18	11	10	11	10	6	15	11	17	20
積 雪(cm)													
最深積雪	32	23	32	17	0	0	0	0	0	0	0	0	18
積 雪 日	44	8	17	11	0	0	0	0	0	0	0	0	8

39. 気象情報等の発令日数・回数

区 分			総 数	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月
総 数			611	74	71	69	53	38	33	55	67	58	28	19	46
注 意 報 ／ 日	風 雪		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	強 風		16	—	—	—	5	—	1	—	—	5	2	1	2
	大 雨		50	—	—	—	—	3	8	12	13	13	1	—	—
	洪 水		48	—	—	—	—	3	6	12	13	13	1	—	—
	大 雪		29	10	7	5	—	—	—	—	—	—	—	—	7
	雷		179	16	8	10	14	12	15	23	22	23	12	12	12
	乾 燥		46	—	—	1	12	13	—	3	17	—	—	—	—
	濃 霧		70	7	9	11	6	7	—	1	—	2	12	6	9
	霜		7	—	—	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	な だ れ		112	31	29	31	15	—	—	—	—	—	—	—	6
	低 温		11	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	着 雪		29	10	7	5	—	—	—	—	—	—	—	—	7
警 報 ／ 日	暴 風		1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	暴 風 雨		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大 雨		6	—	—	—	—	—	1	3	1	1	—	—	—
	洪 水		4	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—	—	—
	大 雪		3	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総 数			51	11	3	1	4	—	6	13	3	4	1	1	4
情 報 等 ／ 回 数	台 風 情 報		5	—	—	—	—	—	2	—	—	3	—	—	—
	土砂災害情報		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	水 防 指 令		4	—	—	—	1	—	—	1	2	—	—	—	—
	火災気象通報		5	—	—	1	3	—	—	—	—	—	1	—	—
	大雪高波強風情報		17	10	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	大雪風雪高波情報		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	強風高波情報		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高温早期警戒情報		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	低温異常天候情報		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大雨落雷突風情報		19	—	—	—	—	—	4	12	1	1	—	1	—
	竜 巻 情 報		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	黄 砂 情 報		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	強風高波落雷情報		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	高波強風大雨情報		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	強い寒気大雪情報		1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

40. 消防用資器材の状況

(H24. 12. 31)

区分	品 名	本署	出張所	区分	品 名	本署	出張所
通 信 設 備	消防緊急通信指令施設Ⅰ型	1	—	救 急 資 器	自動体外式除細動器	5	2
	119番専用回線（携帯等含）	8回線	—		輸液ポンプ	2	—
	C A T V 119番回線	5回線	—		患者監視装置	3	1
	119番 F A X 受信装置	1	—		喉頭鏡	4	1
	無線統制台	1	—		マギール鉗子	4セット	1セット
	一般加入回線	5回線	2回線		聴診器	4	2
	消防無線基地局	1	1		携帯型心電計	3	—
	消防無線陸上移動局/車載	10	3		血中酸素飽和度測定器	4	1
	消防無線陸上移動局/携帯	9	4		血圧計（自動含む）	6	2
	フェニックス防災システム	1	—	資 材	ショックパンツ	2	1
消 防 資 器 材	告知放送設備	4	—		自動心肺蘇生装置	2	1
	ホース（65mm）	104本	42本		携帯型酸素吸入器	5	2
	ホース（50mm）	107本	62本		自動式人工呼吸器	3	1
	エアフォームノズル（ピックアップ式含む）	3	2		簡易型自動式人工呼吸器	3	1
	高発泡器	1	—		吸引器	6	2
	ラインプロポーショナー	1	1		在宅療法セット	2	1
	ジェットシューター	21	5		減圧式固定具	4	2
	布水槽	2	1		酸素ボンベ	27	14
	泡消火薬剤	900ℓ	360ℓ		スクープストレッチャー	4	1
	照明機器（一式）	3	1		エアストレッチャー	1	1
救 助 資 器 材	大型油圧救助機器	3	—	そ の 他	上半身固定具	3	1
	マンホール救助器具	1	—		バックボード	5	2
	マット型空気ジャッキ	1式	—		小児用全身固定器具	2	1
	チルホール	3	1		乳幼児用全身固定器具	2	—
	エンジンカッター	1	1		A E D トレーナー	7	3
	エアーカーター	1	1		高度救急処置訓練人形	1	1
	チェーンソー	3	1		気道確保訓練人形	1	1
	ガス溶断器	1	—		スキルメータレサシアン等	6	3
	空気呼吸器	14	4		レサシジュニア	2	1
	救命ボート（船外機付）	1	—		レサシベビー	2	1
救 助 資 器 材	エアソー	1	—	そ の 他	I V トレーニングキット	1	—
	空気ボンベ	45	18		煙体験ハウス	1	—
	送排風機	1	—		発煙器	1	—
	耐熱服	2	—		ビデオプロジェクター	1	—
	化学防護服	6	2		データプロジェクター	1	—
	ウェットスーツ一式	5	—		救助袋	1	—
	エアータント	2	—		緩降機	1	—
	バスケット型担架	1	1		住宅用防災機器	1式	—
	ペダルカッター	1	—		絶縁抵抗計	1	—
	救命索発射銃	1	—		超音波厚さ計	1	—
救 助 資 器 材	複合ガス検知器	1	1		デジタル表面温度計	1	—
	スケッドストレッチャー	1	—		風向・風力計	1	—
	削岩機	1	—				
	画像探索機	1	—				

41. 消防団研修訓練状況

(平成24年度)

支 団 別	消 防 団 団 員 (人)	消 防 本 部 吏 員 (人)	所 要 時 間 (時分)	備 考
総 数	2,166	71	17 : 35 2 日間	
生 野 支 団	37	2	3 : 00	
林野火災対応訓練	31	—	1 : 00	朝来支団と合同訓練
高齢者宅防火訪問	6	2	2 : 00	町内9戸
和 田 山 支 団	371	23	5 : 15	
秋の火災予防運動訓練	340	11	1 : 45	西土田地区
高齢者宅防火訪問	5	4	3 : 00	町内28戸
分団との合同訓練	26	8	— : 30	赤淵神社周辺
山 東 支 団	250	9	— : 50	
秋の火災予防運動訓練	250	9	— : 50	楽音寺周辺
朝 来 支 団	74	8	2 : 00	
高齢者宅防火訪問	5	—	1 : 00	町内3戸
林野火災対応訓練	69	8	1 : 00	クラインガルテン伊由の郷 (生野支団と合同訓練)
朝 来 市 消 防 団	1,434	29	6 : 30 2 日間	
消防ポンプ操法大会	1,024	29		国道312号線 チェーン脱着場
消防ポンプ操法指導会	300	14	4 : 30	消防本部
新入団員等研修会	91	14	2 : 00	消防本部
消防団活性化研修	19	1	2 日間	大阪市

42. 防火対象物の概要（地域別・査察件数・

用 途 別		防 火 対 象 物					査 察 件 数
		総 数	生 野	和 田 山	山 東	朝 来	
総 数		1,674	234	938	273	229	341
1	イ 映画館等	2	1	1	—	—	2
	ロ 集会場等	89	10	36	23	20	25
2	イ キャバレー等	1	—	1	—	—	—
	ロ 遊技場等	3	—	3	—	—	3
	ニ カラオケボックス等	1	—	1	—	—	—
3	イ 料理店等	—	—	—	—	—	—
	ロ 飲食店等	42	2	31	8	1	19
4	店舗等	112	9	77	13	13	59
5	イ 旅館・ホテル等	39	8	10	13	8	43
	ロ 共同住宅等	232	32	148	33	19	3
6	イ 病院等	27	3	17	2	5	10
	ロ グループホーム等	17	3	6	4	4	20
	ハ デイサービス・保育所	53	8	23	10	12	52
	ニ 幼稚園等	14	—	10	2	2	5
7	学校等	60	24	20	10	6	6
8	図書館等	14	8	3	1	2	1
9	イ サウナ風呂等	—	—	—	—	—	—
	ロ 公衆浴場等	2	—	1	1	—	—
10	車両の停車場	2	1	1	—	—	—
11	神社・寺院等	24	11	9	3	1	7
12	イ 工場等	303	41	168	49	45	19
	ロ 映画スタジオ等	1	—	—	—	1	—
13	イ 駐車場等	23	1	12	4	6	1
14	倉庫	174	24	102	28	20	7
15	その他の事業所	296	36	160	51	49	30
16	イ 複合用途（特定）	74	3	56	6	9	20
	ロ 複合用途（非特定）	56	6	41	6	3	2
17	文化財建造物	13	3	1	6	3	7

中高層建物・防火管理者・消防計画)

(H25.3.31現在)

3 階 以 上 対 象 物					防 火 管 理 者 ・ 消 防 計 画				
総 数	生 野	和田山	山 東	朝 来	対象数	選任数	選 任 率 (%)	計 画 届 出 数	届 出 率 (%)
196	30	125	27	14	392	349	89	342	88
2	1	1	—	—	2	2	100	2	100
5	—	4	—	1	80	49	61	47	59
—	—	—	—	—	1	1	100	1	100
—	—	—	—	—	2	2	100	2	100
—	—	—	—	—	1	1	100	1	100
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2	—	1	1	—	27	23	85	22	81
6	—	6	—	—	65	60	92	57	88
10	—	8	2	—	21	21	100	21	100
47	8	28	10	1	12	11	92	11	92
6	—	2	—	4	11	11	100	11	100
2	—	1	—	1	11	11	100	11	100
1	—	—	—	1	34	32	94	32	94
2	—	2	—	—	1	1	100	1	100
20	7	10	2	1	17	17	100	17	100
1	—	1	—	—	8	8	100	8	100
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	2	2	100	2	100
1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
1	1	—	—	—	1	1	100	1	100
15	9	4	1	1	23	23	100	23	100
—	—	—	—	—	1	1	100	1	100
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
5	1	2	2	—	1	1	100	1	100
34	2	25	5	2	38	38	100	37	97
23	1	19	2	1	30	30	100	30	100
13	—	10	2	1	3	3	100	3	100
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

43. 防火対象物用途別消防用設備設置状況

(H25.3.31現在)

消 防 用 設 備	総 数	集 会 場 等	キ ャ バ レ ー 等	遊 戯 場 等	カ ラ オ ケ ボ ク ス 等	飲 食 店 等	店 舗 等	旅 館 ・ ホ テ ル 等	共 同 住 宅 等	病 院 等	グ ル ー プ ホ ー ム 等	デ イ サ ー ビ ス ・ 保 育 所 等	幼 稚 園 等	学 校 等	図 書 館 等	公 衆 浴 場 等	車 両 の 停 車 場 等	神 社 ・ 寺 院 等	工 場 等	映 画 ス タ ジ オ 等	駐 車 場 等	倉 庫	そ の 他 の 事 業 所	複 合 用 途 (特 定)	複 合 用 途 (非 特 定)	文 化 財 建 造 物
スプリンクラー設備																										
設置対象数	23	—	—	—	—	—	3	—	—	2	15	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—
設置済	23	—	—	—	—	—	3	—	—	2	15	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	—
適合																										
不適合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
未設置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
屋内消火栓設備																										
設置対象数	171	7	—	—	—	3	6	5	7	5	1	5	2	29	—	1	—	—	64	—	—	10	22	1	3	—
設置済	162	7	—	—	—	3	6	5	7	5	1	5	2	29	—	1	—	—	58	—	—	9	21	—	3	—
適合																										
不適合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
未設置	9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	—	—	1	1	1	—	—
自動火災報知設備																										
設置対象数	627	33	—	2	1	17	67	32	32	18	15	35	9	49	9	2	1	1	151	1	4	44	53	28	10	13
設置済	602	33	—	2	1	17	64	32	32	18	15	35	9	49	9	2	1	1	141	1	3	40	52	27	8	10
適合																										
不適合	7	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	1	—	—
未設置	18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	1	4	1	—	2	3
非常ベル等																										
設置対象数	185	70	1	2	—	11	17	5	12	4	3	4	1	10	1	—	—	—	—	—	—	—	29	13	2	—
設置済	183	70	1	2	—	11	16	5	12	4	3	4	1	10	1	—	—	—	—	—	—	—	29	12	2	—
適合																										
不適合	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
未設置	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—
火災通報装置																										
設置対象数	435	16	—	2	—	3	52	20	24	15	13	22	5	34	3	1	—	1	149	1	—	14	51	7	1	1
設置済	435	16	—	2	—	3	52	20	24	15	13	22	5	34	3	1	—	1	149	1	—	14	51	7	1	1
(義務設置)																										
適合	51	—	—	—	—	—	18	—	7	13	11	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
不適合	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
未設置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
誘導灯																										
設置対象数	446	78	1	3	1	30	83	34	1	26	15	43	9	4	3	2	—	—	13	1	—	7	43	46	3	—
設置済	442	77	1	3	1	30	82	34	1	26	15	43	9	4	3	2	—	—	13	1	—	6	43	45	3	—
適合																										
不適合	2	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
未設置	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	—	—

44. 確認申請処理状況

(H25.3.31現在)

種 別	総 数	同 意	指 導 に よ る 同 意	不 同 意
総 数	4 0	3 2	8	0
	《 工 事 別 》			
新 築	3 1	2 8	3	—
増 築	3	1	2	—
改 築	—	—	—	—
移 転	—	—	—	—
修 繕	—	—	—	—
模 様 替	—	—	—	—
用 途 変 更	6	3	3	—
	《 構 造 別 》			
耐 火 構 造	3	2	1	—
準 耐 火 構 造	3	2	1	—
そ の 他	3 4	2 8	6	—

45. 消防教室実施状況

(H25.3.31現在)

実 施 区 分	対 象 数	参 加 人 員	時 間	消 防 職 員
総 数	167	9,733	263 : 40	451
地 区	24	1,256	28 : 20	45
婦 人 会	1	12	1 : 40	1
育 友 会	11	493	13 : 45	26
事 業 所	57	2,338	75 : 25	126
学 校 ・ 保 育 所	50	5,106	74 : 35	186
消 防 団	3	64	7 : 30	8
そ の 他	21	464	62 : 25	59

46. 危険物施設数及び立入検査回数

(H25.3.31現在)

危険物施設		総数	地域別				立入検査回数
			生野	和田山	山東	朝来	
総数		182	47	85	27	23	103
製造所		2	2	—	—	—	2
貯蔵所	屋内貯蔵所	17	9	7	1	—	16
	屋外タンク貯蔵所	34	13	9	7	5	30
	屋内タンク貯蔵所	7	4	2	1	—	5
	地下タンク貯蔵所	43	5	26	7	5	3
	簡易タンク貯蔵所	1	—	—	1	—	—
	移動タンク貯蔵所	13	1	5	3	4	13
	屋外貯蔵所	4	2	2	—	—	2
取扱所	給油取扱所	28	2	17	4	5	32
	一般取扱所	33	9	17	3	4	—

47. 危険物施設設置許可数及び変更許可の状況

(H25.3.31現在)

危険物施設	総数	変更許可					設置許可
		構造に関するもの	付属機器に関するもの	配管に関するもの	タンクに関するもの	その他	
総数	34	13	6	3	5	1	6
製造所	1	—	—	—	1	—	—
屋内貯蔵所	—	—	—	—	—	—	—
屋外タンク貯蔵所	4	—	—	1	—	—	3
屋内タンク貯蔵所	—	—	—	—	—	—	—
地下タンク貯蔵所	1	1	—	—	—	—	—
簡易タンク貯蔵所	—	—	—	—	—	—	—
移動タンク貯蔵所	—	—	—	—	—	—	—
屋外貯蔵所	—	—	—	—	—	—	—
給油取扱所	11	4	2	—	4	1	—
一般取扱所	17	8	4	2	—	—	3

48. 数量・類別危険物施設数

(H25.3.31現在)

製造所 貯蔵所 取扱所	総 数	数量別						類別						
		5 倍 以 上	5 倍を 越え 10 倍 以下	10 倍を 越え 50 倍 以下	50 倍を 越え 100 倍 以下	100 倍を 越え 200 倍 以下	200 倍を 越える もの	第 一 類	第 二 類	第 三 類	第 四 類	第 五 類	第 六 類	混 在
総数	182	84	40	31	7	12	8	—	—	—	180	1	—	1
製造所	2	—	—	1	1	—	—	—	—	—	2	—	—	—
貯蔵所	119	64	30	21	2	2	—	—	—	—	118	—	—	1
屋内貯蔵所	17	10	5	1	—	1	—	—	—	—	16	—	—	1
屋外タンク貯蔵所	34	8	9	14	2	1	—	—	—	—	34	—	—	—
屋内タンク貯蔵所	7	4	3	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—
地下タンク貯蔵所	43	27	12	4	—	—	—	—	—	—	43	—	—	—
簡易タンク貯蔵所	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—
移動タンク貯蔵所	13	12	1	—	—	—	—	—	—	—	13	—	—	—
屋外貯蔵所	4	2	—	2	—	—	—	—	—	—	4	—	—	—
取扱所	61	20	10	9	4	10	8	—	—	—	60	1	—	—
給油取扱所(営業用)	21	—	—	—	3	10	8	—	—	—	21	—	—	—
給油取扱所(自家用)	7	3	1	3	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—
一般取扱所	33	17	9	6	1	—	—	—	—	—	32	1	—	—

49. 消防相互応援協定の締結状況

(平成25年3月31日現在)

締 結 年 月 日	内 容
平成18年11月22日	福知山市と消防相互応援に関する協定
平成18年12月 1日	国土交通省(近畿地方整備局豊岡河川国道事務所)、兵庫県道路公社、丹波市と北近畿豊岡自動車道春日J C・I Cから和田山J C・I Cまでの間における消防業務の相互応援に関する協定
平成19年 2月 7日	兵庫県道路公社、姫路市と播但連絡有料道路における消防業務の相互応援に関する協定 (改定改正)
平成19年 3月30日	姫路市と消防業務の相互応援に関する協定 (改定)
平成19年 4月 1日	養父市と消防相互応援に関する協定 (改定)
平成19年 4月 1日	豊岡市と消防相互応援に関する協定 (改定)
平成19年 4月 1日	宍粟市と消防相互応援に関する協定 (改定)
平成19年 7月 1日	丹波市と消防相互応援に関する協定 (改定)
平成23年 4月 1日	北はりま消防組合と消防相互応援に関する協定
平成24年 3月27日	兵庫県広域消防相互応援に関する協定 (改定)
平成24年11月21日	国土交通省豊岡河川国道事務所、養父市と北近畿豊岡自動車道和田山ジャンクション・インターチェンジから八鹿氷ノ山インターチェンジまでの間における消防業務の相互応援協定に関する協定書

養父市消防本部編



も く じ



もくじ	57
-----	----

庶 務

消防庁舎の概要 本部（署）・出張所・訓練場	59
1 年間のできごと	60
消防予算（当初）及び決算	61
消防の配置・年齢・勤務年数の状況	62
消防力の基準と現有勢力・消防車両配置状況	63
管内面積・人口・世帯数等	63

指導・危険物

火災予防・防火対象物の現況	64
中高層防火対象物状況	65
防火対象物・防火管理者・消防計画・査察状況	66
建築同意事務処理状況	67
各種届出等受理状況	68
危険物施設の現況・地域別危険物製造所等設置状況	69
危険物施設状況及び査察状況	70
危険物関係事務処理状況	71

警 防

火災概要・方面別火災発生状況	72
火災発生状況前年比較	73
年次別・月別火災発生状況	74・75
火災出動状況・方面別火災出動状況・主として使用した水利	76
火災原因別り災状況・放水から鎮火までの所要時間	77
月別・曜日別・時間別火災発生件数	78

年次別火災件数	79
救急概要・搬送状況・救急出動前年比較・居住地別搬送人員	80
方面別救急出動状況	81
事故種別傷病程度別搬送人員	81
事故種別年齢区分別搬送人員	81
現場到着所要時間別出動件数	82
収容所要時間別搬送人員	82
年齢区分別傷病程度別搬送人員	82
急病にかかる疾病分類傷病程度別搬送人員	
・発生場所別搬送人員	83
曜日・月別救急出動件数及び搬送人員	84・85
休日・時間別救急出動件数及び搬送人員・不搬送件数	86・87
救急隊員の行った応急処置	88・89
ドクターヘリ要請状況・ドクターヘリ月別要請状況	90
病院紹介	91
年次別救急統計	92・93
救助概要・救助出動状況	94
年次別救助件数	95
消防団・防火クラブ	
消防団員の年齢構成・勤務年数	96
幼少年婦人防火クラブ活動状況	97
その他	
119番受信状況	98
特殊器具等の状況	99
広報活動状況	100

消防庁舎の概要

◎ 消防本部（署）

兵庫県養父市八鹿町高柳173番地

庁舎概要 鉄筋コンクリート造 2 階建

延べ面積 810.3㎡

1 階用途 車庫・待機室・通信室及び受付・洗面所・浴室・脱衣室・機械室・
トイレ・救急消毒室・危険物倉庫

2 階用途 事務室・消防（署）長室・食堂・更衣室・トイレ・書庫



◎ 大屋出張所

兵庫県養父市大屋町樽見549番地

庁舎概要 鉄筋コンクリート造 2 階建

延べ面積 270.2㎡

1 階用途 事務室・車庫・受付
会議室・食堂・洗面所
浴室・トイレ・工具室
機械室・救急消毒室

2 階用途 待機室・更衣室



◎ 養父市消防訓練場

兵庫県養父市八鹿町高柳字奥山田

313-10番地

敷地面積 2368.3 ㎡

訓練塔 鉄骨造 5 階建

補助塔 鉄骨 3 本組、12m

別棟倉庫 プレハブ平屋建26 ㎡



1年間のできごと

(平成24年4月～25年3月)

平成24年

- 4月 養父市消防大会(八鹿方面)
山火事防止運動
- 5月 兵庫県消防防災航空隊との合同消火
訓練
- 6月 トライやるウィーク
- 7月 救助技術近畿地区指導会
- 8月 水難救助訓練
- 9月 防火管理者講習会
一般公募普通救命講習
- 11月 北近畿豊岡自動車道 和田山八鹿道路
防災訓練

兵庫県消防防災航空隊との合同山岳
救助訓練
秋の火災予防運動

- 12月 年末特別火災警戒・出陣式

平成25年

- 1月 文化財防火デー訓練
- 2月 冬山搜索訓練
- 3月 春の火災予防運動
独居老人宅防火訪問
但馬救助技術研究会
一般公募普通救命講習



5月16日に林野火災が発生した際に、効率的な消火活動による被害の軽減を図ることを目的に航空隊と合同で消火訓練を行い、連携の強化を図りました。



7月26日に伊佐少年消防クラブ員が郷土の理解を深めるため氷ノ山登山を行い、山頂において登山中のケガに対する応急手当の講習を実施しました。



11月10日に火災予防運動の一環として北近畿豊岡自動車道和田山八鹿道路の開通イベント「YABU 2012マラソン&フェスティバル」で消防フェスタを実施し、多くの来場者に火災予防を訴えました。



12月7日に関宮幼児センターにおいて防火餅つきが開催され、幼年消防クラブ鼓笛隊による力強い演奏の後、園児と一緒に餅つきを行い、防火を呼びかけました。

消防予算（当初）

平成24年度消防予算額は703,370千円で、養父市一般会計予算に占める割合は、3.6％となっています。消防費のうち常備消防費は474,163千円でそのうち人件費が331,497千円(69.9％)で、それ以外の主な歳出としては、養父市・朝来市消防広域化事業に伴う高機能指令センターシステム増設並びに消防救急無線引き込み・CATV接続工事等の整備をしました。さらに、専門的知識・技術を習得するため消防大学校・兵庫県消防学校等の教育機関に職員を研修派遣しました。



歳 出

〔単位：千円〕

区 分	金 額
1. 常備消防費	474,163
2. 非常備消防費	113,383
3. 消防施設費	103,111
4. 災害対策費	12,301
5. 水防費	412
計	703,370

常備消防費の内訳

区 分	金 額
2. 給料	165,273
3. 職員手当	108,587
4. 共済費	57,637
8. 報償費	90
9. 旅費	1,156
11. 需用費	14,212
12. 役務費	4,827
13. 委託料	20,139
14. 使用料及び賃借料	1,990
15. 工事請負費	0
18. 備品購入費	0
19. 負担金、補助及び交付金	99,836
27. 公課費	416
計	474,163



一日消防署長の防火講話（童和保育園）

職員配置・年齢・勤務年数状況

(平成24年4月1日現在)

		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	計
消防本部 (署)	消防長	1	—	—	—	—	—	1
	次長	—	1	—	—	—	—	1
	管理課	—	1	1	—	—	—	2
	管理グループ	—	1	1	—	—	—	2
	予防課	—	1	—	—	—	—	1
	予防グループ	—	1	2	—	(1)	—	3(1)
	警防課	—	3	—	—	—	—	3
	警防第1部	—	—	—	—	—	—	—
	消防グループ	—	(1)	1	2	1	1	5(1)
	救急グループ	—	—	3	—	—	—	3
	救助グループ	—	—	2	—	1	—	3
	警防第2部	—	—	—	—	—	—	—
	消防グループ	—	(1)	3	(1)	1	1	5(2)
	救急グループ	—	—	3	—	—	—	3
	救助グループ	—	—	2	1	—	—	3
	装備グループ	—	—	(1)	—	—	—	—
大出張屋所	出張所長	—	—	1	—	—	—	1
	出張所第1グループ	—	—	2(1)	2	—	—	4(1)
	出張所第2グループ	—	—	3	1	1	—	5
計		1	8(2)	24(2)	6(1)	4(1)	2	45(5)

() 内は兼務

年齢	20歳未満	—	—	—	—	—	—	—
	20歳以上25歳未満	—	—	—	—	1	2	3
	25歳 " 30歳 "	—	—	—	2	3	—	5
	30歳 " 35歳 "	—	—	2	3	—	—	5
	35歳 " 40歳 "	—	—	9	—	—	—	9
	40歳 " 45歳 "	—	—	1	—	—	—	1
	45歳 " 50歳 "	—	—	4	—	—	—	4
	50歳以上	1	8	8	1	—	—	18
計		1	8	24	6	4	2	45

平均年齢40.57歳

勤務年数	5年未満	—	—	—	—	1	2	3
	5年以上10年未満	—	—	—	2	3	—	5
	10年 " 15年 "	—	—	3	3	—	—	6
	15年 " 20年 "	—	—	5	—	—	—	5
	20年 " 25年 "	—	—	4	—	—	—	4
	25年 " 30年 "	—	—	4	—	—	—	4
	30年以上	1	8	8	1	—	—	18
計		1	8	24	6	4	2	45

消防力の基準と現有勢力

(平成24年4月1日現在)

区 分	基準消防力	現有消防力	不 足 数	充 足 率(%)
署 所 の 数	2	2	0	100
計	2	2	0	100
消 防 ポ ン プ 自 動 車	2	2	0	100
は し ご 自 動 車	1	0	1	0
化 学 消 防 車	1	1	0	100
特 殊 車 等	3	4	0	133
救 助 工 作 車	1	1	0	100
救 急 車	3	3	0	100
計	11	11	1	

消防車両配置状況

(平成25年3月31日現在)

車 両 別	種 別	所 属	年 式	シャ ー シ ー 等	ポンプ型式 級別
1号車	査 察 広 報 車	本 署	H 2 0	トヨタランドクルーザー	
2号車	ポ ン プ 車	出張所	H 1 5	三菱ふそうキャンター	並列2段タービン A2
3号車	防 火 広 報 車	本 署	H 2 1	トヨタハイエース	
4号車	司 令 車	本 署	H 1 4	トヨタランドクルーザー	
5号車	化 学 車	本 署	H 2 2	日 野 レ ン ジ ャ ー	並列2段タービン A2 (CAFS搭載)
6号車	高規格救急車	出張所	H 2 1	トヨタハイメディック	
7号車	ポ ン プ 車	本 署	H 2 1	ト ヨ タ	並列2段タービン A2 (CAFS搭載)
8号車	救 助 工 作 車	本 署	H 1 8	日 野 レ ン ジ ャ ー	
9号車	査 察 広 報 車	出張所	H 6	トヨタランドクルーザー	
10号車	高規格救急車	本 署	H 2 2	トヨタハイメディック	
20号車	高規格救急車	本 署	H 1 5	トヨタハイメディック	
公用車	公 用 車	本 署	H 9	トヨタクレスタ	

管内面積・人口・世帯数等

(平成24年4月1日現在)

区 分	面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯)	1 km ² 当り	
				人 口 (人)	世帯数(世帯)
養 父 市	422.78	26,501	9,739	62.7	23.0

火災予防

当管内では、過疎化や少子高齢化が進む中で、高齢者にやさしい生活環境が求められています。このような状況のもとで、独居老人・高齢者所帯等の防火訪問を実施し、現在使用している火気使用器具の安全な取扱いと家庭内での火気管理の徹底について指導しました。

また、学校・福祉施設・自主防災組織等の自衛消防訓練指導に積極的に関わり、自発的な火災予防の徹底を推進しました。さらに平成18年6月より住宅用火災警報器の設置義務化に伴い、平成22年度に関係機関・団体の協力をいただき、養父市住宅用火災警報器設置推進委員会を設立し、各種団体の会合等を通じて、その背景、意義などを広く訴え普及啓発に努めました。

防火対象物の現況

当消防本部管内は、高層建築物・大規模工場等は少ないものの鉢伏高原に代表される観光地を抱えており、夏の林間学校、冬のスキー等で多くの入山者があります。

これら不特定多数の人の出入りする旅館が管内防火対象物の約8%を占め、当本部では旅館に対する査察の徹底を図るべく、ハード面の指導はもちろんのこと、シーズン前にはソフト面の指導を重点に防火教室を実施し、初期消火、避難誘導體制の確立、消防用設備等の維持管理の徹底を図りました。



中高層防火対象物状況

地域別 階数 用途	八 鹿				養 父			大 屋			関 宮			計
	3 階	4 階	5 階	6 階 以上	3 階	4 階	5 階	3 階	4 階	5 階	3 階	4 階	5 階	
劇 場 ・ 映 画 館 等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
公 会 堂 ・ 集 会 場	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	2
飲 食 店 等	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
百 貨 店 ・ 店 舗 等	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
旅 館 ・ ホ テ ル	1	—	—	—	3	—	—	2	—	—	23	21	1	51
共同住宅・寄宿舍	16	6	3	2	6	2	—	—	—	—	3	2	—	40
病 院 ・ 診 療 所	—	1	—	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—	3
福 祉 施 設	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	2
小・中・高・大学校	10	2	—	—	3	—	—	2	—	—	3	—	—	20
工 場 等	4	1	—	—	2	—	—	—	—	—	3	—	—	10
倉 庫	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	5
事業所・事務所等	15	3	—	1	9	—	—	2	2	—	8	—	—	40
複合用途防火対象物	29	4	2	1	1	1	—	1	—	—	3	2	—	44
合 計	84	18	5	6	24	5	—	7	2	—	43	26	1	221

防火対象物・防火管理者・消防計画・査察状況

区 分 用 途 別			査 察 状 況		防 火 管 理 者		消 火 計 画	
			対 象 物 数 (棟別)	実施対象物数	年間選任回数	現 況	年間届出数 (作成変更)	現 況
1項	イ	劇場・映画館	—	—	—	—	—	—
	ロ	公会堂・集会場	99	16	8	97	10	97
2項	イ	キャバレー等	—	—	—	—	—	—
	ロ	遊技場	2	1	—	2	—	2
	ハ	性風俗特殊営業店舗等	—	—	—	—	—	—
	ニ	カラオケボックス等	—	—	—	—	—	—
3項	イ	待合・料理店	—	—	—	—	—	—
	ロ	飲食店	39	28	1	36	1	34
4項		百貨店・マーケット	46	9	8	33	10	33
5項	イ	旅館・ホテル	120	98	3	103	3	101
	ロ	寄宿舍・共同住宅	104	1	—	10	—	10
6項	イ	病院・診療所	18	8	—	4	2	4
	ロ	特養・老人介護施設等	17	17	1	11	1	11
	ハ	デイサービスセンター等	38	9	12	33	20	33
	ニ	幼稚園・養護学校	4	1	2	4	1	4
7項		小・中・高・大学校	53	52	6	30	16	30
8項		図書館・美術館	5	2	—	5	—	4
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場	—	—	—	—	—	—
	ロ	イ以外の公衆浴場	3	3	1	3	1	3
10項		停車場	2	—	—	—	—	—
11項		神社・寺院・教会	69	5	—	3	—	3
12項	イ	工場・作業場	202	12	—	10	1	10
	ロ	映画スタジオ	2	—	—	—	—	—
13項	イ	自動車車庫	20	1	—	—	—	—
14項		倉庫	109	1	1	—	1	—
15項		前各号に該当しない事業所	381	20	12	52	13	51
16項	イ	複合用途防火対象物のうち特定防火対象物の用途を含む	101	16	2	56	2	55
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	48	4	—	4	—	4
17項		重要文化財	9	1	—	3	—	3
総 数			1,491	305	57	499	82	492

建築同意事務処理状況

()内は通知

用 途 別		工 事 別		新 築		増 築		改 築		用途変更等		合 計	
				24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度	24年度	23年度
1項	イ	劇場・映画館		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	公会堂・集会場		1	—	1	—	—	—	—	1	2	1
2項	イ	キャバレー等		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	遊技場		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ハ	性風俗特殊営業店舗等		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ニ	カラオケボックス等		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3項	イ	待合・料理店		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	飲食店		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
4項		百貨店・マーケット		2	—	1	—	—	—	—	—	3	—
5項	イ	旅館・ホテル		—	—	—	1	—	—	—	—	—	1
	ロ	寄宿舎・共同住宅		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6項	イ	病院・診療所		1	—	—	—	—	—	—	—	1	—
	ロ	特養・老人介護施設等		—	2	—	—	—	—	—	—	—	2
	ハ	デイサービスセンター等		—	1	1	1	—	—	—	—	1	2
	ニ	幼稚園・養護学校		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
7項		小・中・高・大学校		4	2	1	2	—	—	—	—	5	4
8項		図書館・美術館		—	—	—	—	—	—	2	1	2	1
9項	イ	蒸気浴場・熱気浴場		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	イ以外の公衆浴場		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
10項		停車場		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
11項		神社・寺院・教会		—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
12項	イ	工場・作業場		3	3	—	2	—	—	—	—	3	5
	ロ	映画スタジオ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
13項	イ	自動車車庫		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
14項		倉庫		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
15項		前各号に該当しない事業所		1	8	1	—	—	—	1	—	3	8
16項	イ	複合用途防火対象物のうち特定防火対象物の用途を含む		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物		1	—	—	—	—	—	—	—	1	—
17項		重要文化財		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
18項		50m以上のアーケード		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		専用住宅		1(18)	1(16)	2(3)	1(9)	—	—	(1)	—	3(22)	2(25)
		併用住宅		—	(1)	—	—	—	—	—	—	—	(1)
		危険物施設		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		その他		7	10	—	(1)	—	—	—	—	7	10(1)
建 築		エレベーター		1(1)	—	—	(1)	—	—	—	—	1(1)	(1)
設 備		エスカレーター		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計				22 (19)	28 (17)	7 (3)	7 (11)	—	—	3 (1)	2	32 (23)	37 (28)

各種届出等受理状況

届 出 別		年 度 別	
		2 4 年 度	2 3 年 度
防火管理者選任（解任）届出書		5 6	7 5
消防計画届出書		8 1	9 8
消防用設備等着工届出書		2 1	3 3
消防用設備等工事計画届出書		1 3	1 8
消防用設備等設置届出書		5 1	6 9
消防用設備等緩和願		4	4
消防用設備等点検結果報告書		212	257
防火対象物定期点検結果報告書		1 8	1 6
防火自主点検結果報告書		1	2
防火対象物使用開始届出書		2 5	3 2
火を使用する 設備等の設置 届出書	熱風炉	—	—
	炉・かまど	—	2
	ボイラー・給湯湯沸設備	4	5
	乾燥設備	—	—
	サウナ設備	—	—
	温風暖房機	6	—
電気設備 設置届出書	変電設備	4	7
	発電設備	1	3
	蓄電池設備	6	1 1
	ネオン管灯設備	—	—
劇場等の裸火使用許可申請書		2	2
合 計		5 0 5	6 3 4

危険物施設の現況

消防法で規制される危険物は、その危険性によって定められた量（指定数量）以上を貯蔵・取扱いをする場合、許可施設で行うこととされています。

管内には、平成24年度末で192の危険物施設があります。この数は前年に比べて12施設の減となっています。

全国的に危険物施設は減少傾向にあるものの、事故件数は前年に比べ49件増加し、近年最も少なかった平成6年と比較すると約2倍であり依然として高い水準にあります。火災事故は原因の多くを「人的要因」が占め、流出事故は「腐食等劣化」が原因の多くを占めていることから、国が定めている危険物事故防止アクションプランの重点項目である「業種を越えた事故情報の共有」「地震・津波対策の推進」「日常点検の推進」「保安教育の充実」「経年劣化による流出事故防止対策の推進」など、事故防止対策の推進を重点的に実施しています。

また、施設の維持管理及び貯蔵（取扱い）の方法について、立入検査や講習会を通じて関係者に指導を行い、災害防止対策を図っています。

地域別危険物製造所等設置状況

種 別 \ 地 域 別		養 父 市	八 鹿	養 父	大 屋	関 宮
製 造 所		1	—	1	—	—
貯 蔵 所	屋 内	15	9	2	2	2
	屋 内 タ ン ク	10	6	2	—	2
	屋 外 タ ン ク	9	3	—	—	6
	地 下 タ ン ク	83	20	9	5	49
	移 動 タ ン ク	10	4	3	—	3
	小 計	127	42	16	7	62
取 扱 所	給 油	31	14	9	3	5
	一 般	33	10	8	5	10
	小 計	64	24	17	8	15
合 計		192	66	34	15	77



危険物施設状況及び査察状況

製造所等の別 査察指示区分	製造所	貯蔵所						取扱所		合計
		屋内	屋外	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	給油	一般	
危険物施設数	1	15	—	10	9	83	10	31	33	192
査察件数	2	15	—	8	8	71	10	41	30	185
査察率（％）	200	100	—	80	89	86	100	132	91	96
位置・構造に関するもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
施設の維持管理に関するもの	—	3	—	—	2	28	1	9	9	52
貯蔵又は取扱いに関するもの	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1
消火設備に関するもの	—	1	—	—	2	3	2	4	1	13
無許可無届に関するもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保安監督者及び取扱者に関するもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
届出書等書類に関するもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
防火管理に関するもの	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	5	—	—	4	31	3	13	10	66

危険物関係事務処理状況

事務内訳		製造所等の別	製造所	貯蔵所						取扱所		合計
				屋内	屋外	屋内タンク	屋外タンク	地下タンク	移動タンク	給油	一般	
許可	許可	—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	2
	変更	1	2	—	—	—	—	1	—	11	1	16
タンク検査	水張り	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	水圧	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1
完成検査	設置	—	—	—	—	—	1	1	—	1	—	3
	変更	1	2	—	—	—	—	1	—	8	1	13
仮使用承認申請		1	2	—	—	—	—	1	—	11	1	16
保安監督者選任届		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
保安監督者解任届		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
類・品名・数量変更届		—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
廃止届		—	1	—	—	—	1	7	—	1	5	15
軽微変更届		—	1	—	—	—	—	8	—	6	1	16
譲渡引渡届		—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	1
工事施行届		—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
危険物取扱従事者届		1	3	—	—	6	—	10	—	2	8	30
定期点検届		—	—	—	—	—	—	36	6	11	6	59
圧力点検		—	—	—	—	—	—	42	2	8	6	58
休止・再使用届		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
災害発生届出書		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他		—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	2
計		4	11	—	—	6	3	109	9	63	29	234

火 災

火災概要

平成24年中における養父市内の火災件数は18件でした。

方面別では、八鹿方面が8件、養父方面が3件、大屋方面が3件、関宮方面が4件でした。

火災種別では、建物火災が13件、車両火災が3件、その他の火災が2件となっており、火災による損害額は、73,926千円でした。

建物火災による焼損棟数は17棟、焼損面積は1,170平方メートルでした。

また、火災による死者は2名、負傷者は5名でした。



方面別火災発生状況

区 分	総 数	八 鹿 方 面	養 父 方 面	大 屋 方 面	関 宮 方 面
出 火 件 数	18	8	3	3	4
建 物	13	7	1	2	3
林 野	—	—	—	—	—
車 両	3	1	1	1	—
そ の 他	2	—	1	—	1
焼 損 棟 数	17	9	1	4	3
全 焼	3	2	1	—	—
半 焼	5	1	—	2	2
部 分 焼	3	2	—	—	1
ぼ や	6	4	—	2	—
損害額(千円)	73,926	32,384	9,600	8,123	23,819
建 物	73,405	32,014	9,475	8,097	23,819
林 野	—	—	—	—	—
車 両	521	370	125	26	—
そ の 他	—	—	—	—	—
焼 損 面 積 建 物 (㎡)	1,170	519	326	187	138
林 野 (a)	—	—	—	—	—
り 災 世 帯	10	4	1	3	2
り 災 人 員	31	11	2	13	5
死 者	2	—	2	—	—
負 傷 者	5	5	—	—	—

火災発生状況前年比較

区 分			24年	23年	増 減
出 火 件 数			18	18	増減なし
火 災 種 別	建 物		13	8	5
	内 訳	全 焼	2	4	△2
		半 焼	5	1	4
		部 分 焼	3	1	2
		ぼ や	3	2	1
	林 野		—	1	△1
	車 両		3	3	増減なし
	そ の 他		2	6	△4
焼 損 棟 数	合 計		17	9	8
	内 訳	全 焼	3	4	△1
		半 焼	5	1	4
		部 分 焼	3	1	2
		ぼ や	6	3	3
損 害 額	合 計		73,926	32,136	41,790
	建 物		73,405	18,168	55,237
	内 訳	全 焼	33,419	15,896	17,523
		半 焼	36,483	1,658	34,825
		部 分 焼	548	402	146
		ぼ や	2,955	212	2,743
	林 野		—	12,500	△12,500
	車 両		521	493	28
	そ の 他		—	975	△975
焼 損 面 積		建 物 (m ²)	1,170	720	450
		林 野 (a)	—	800	△800
り 災 世 帯			10	9	1
り 災 人 員			31	25	6
死 者			2	3	△1
負 傷 者			5	6	△1
出 火 率			6.7	6.6	0.1

(△)は減

年次別月別火災発生状況

		火 災 件 数					焼 損 棟 数					焼損面積		死傷者		り 災 人 員
年 次 別	月 別	総 数	建 物	林 野	車 両	そ の 他	総 数	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	建 物 (m^2)	林 野 (a)	死 者	負 傷 者	
24年		18	13	—	3	2	17	3	5	3	6	1,170	—	2	5	31
総数 (H19～H23)		67	33	5	8	21	36	10	4	8	14	2,437	822	6	19	69
年 次 別	19年	10	7	1	—	2	7	1	—	—	6	204	3	—	—	16
	20年	12	5	1	4	2	5	2	—	1	2	774	8	—	6	—
	21年	16	7	1	—	8	7	1	2	2	2	573	11	2	3	12
	22年	11	6	1	1	3	8	2	1	4	1	98	—	1	4	16
	23年	18	8	1	3	6	9	4	1	1	3	720	800	3	6	25
月 別	1月	2	2	—	—	—	2	—	1	—	1	76	—	—	—	2
	2月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3月	2	1	—	1	—	1	—	1	—	—	108	—	—	—	—
	4月	3	1	—	1	1	1	—	—	1	—	—	—	—	—	—
	5月	2	2	—	—	—	6	2	1	—	3	478	—	—	4	15
	6月	2	2	—	—	—	2	—	1	1	—	66	—	—	—	3
	7月	1	1	—	—	—	1	1	—	—	—	326	—	1	—	2
	8月	3	1	—	1	1	1	—	1	—	—	111	—	1	1	2
	9月	2	2	—	—	—	2	—	—	—	2	—	—	—	—	4
	10月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11月	1	1	—	—	—	1	—	—	1	—	5	—	—	—	3
	12月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

		り災世帯				損 害 額 (千円)						
年 次 別 月 別		総 数	全 損	半 損	小 損	総 数	建 物			林 野	車 両	そ の 他
							総 数	建 築 物	収 容 物			
2 4 年		10	3	3	4	73,926	73,405	59,605	13,800	—	521	—
総数 (H19～H23)		26	6	5	15	163,082	146,804	135,771	11,033	12,849	2,419	1,010
年 次 別	19年	6	1	—	5	23,498	23,498	18,383	5,115	—	—	—
	20年	—	—	—	—	10,346	8,420	8,020	400	—	1,926	—
	21年	4	1	1	2	78,478	78,114	76,298	1,816	349	—	15
	22年	7	—	3	4	18,624	18,604	17,188	1,416	—	—	20
	23年	9	4	1	4	32,136	18,168	15,882	2,286	12,500	493	975
月 別	1月	1	1	—	—	23,706	23,706	19,734	3,972	—	—	—
	2月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3月	—	—	—	—	2,787	2,662	2,381	281	—	125	—
	4月	—	—	—	—	121	95	—	95	—	26	—
	5月	4	1	1	2	29,379	29,379	22,932	6,447	—	—	—
	6月	1	—	1	—	3,007	3,007	1,886	1,121	—	—	—
	7月	1	1	—	—	9,475	9,475	7,946	1,529	—	—	—
	8月	1	—	1	—	5,032	4,662	4,336	326	—	370	—
	9月	1	—	—	1	21	21	—	21	—	—	—
	10月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11月	1	—	—	1	398	398	390	8	—	—	—
	12月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

火災出動状況

火 災 種 別	消 防 署		消 防 団	
	出 動 車 両 数	人 員	出 動 車 両 数	人 員
建 物 火 災	40台	148人	78台	887人
林 野 火 災	—	—	—	—
車 両 火 災	9台	31人	8台	150人
そ の 他 の 火 災	1台	9人	4台	25人
合 計	50台	188人	90台	1,062人
総 出 動 車 両 数 140台				
総 出 動 人 員 1,250人				

方面別火災出動状況

		総 数	八鹿方面	養父方面	大屋方面	関宮方面
出 動 車 両 (台)	消 防 署	50	23	7	12	8
	消 防 団	90	42	13	16	19
	合 計	140	65	20	28	27
出 動 人 員 (人)	消 防 署	188	91	23	37	37
	消 防 団	1,062	631	125	152	154
	合 計	1,250	722	148	189	191

主として使用した水利

	建 物		林 野		車 両		そ の 他	
	消防署	消防団	消防署	消防団	消防署	消防団	消防署	消防団
総 数	7	7	—	—	3	1	—	—
自 然 水 利	2	3	—	—	—	—	—	—
防 火 水 槽	2	1	—	—	—	—	—	—
消 火 栓	2	3	—	—	2	1	—	—
積 載 水	1	—	—	—	1	—	—	—
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—

火災原因別り災状況

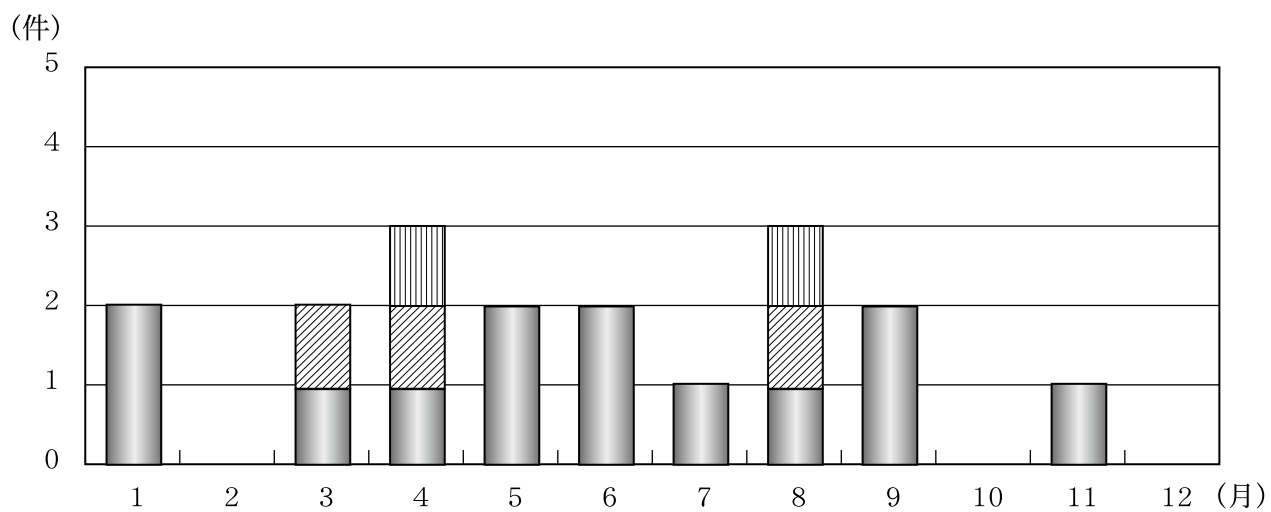
火 災 原 因	総 数	建 物	林 野	車 両	そ 他	焼 損 棟 数	り 災 人 員	焼 損 棟 数		損 害 額 (千円)
								建 物 (㎡)	林 野 (a)	
総 数	18	13	—	3	2	17	31	1,170	—	73,926
焼却火が燃え広がる	3	1	—	—	2	3	13	79	—	5,435
放 火 の 疑 い	2	2	—	—	—	2	7	5	—	419
煙 草 の 不 始 末	1	1	—	—	—	1	—	—	—	—
取 灰 の 不 始 末	1	1	—	—	—	1	2	111	—	4,662
ろうそくの火が燃え広がる	1	1	—	—	—	1	2	76	—	20,772
電気コンロの輻射熱	1	1	—	—	—	1	—	—	—	95
車のオーバーヒート	1	—	—	1	—	—	—	—	—	26
車の排気管の過熱	1	—	—	1	—	—	—	—	—	125
エンジンルーム配線の判断線	1	—	—	1	—	—	—	—	—	370
かまどからの出火	1	1	—	—	—	3	2	399	—	23,944
ストーブからの出火	1	1	—	—	—	1	—	4	—	55
そ の 他	1	1	—	—	—	1	—	—	—	2,934
不 明	3	3	—	—	—	3	5	496	—	15,089

放水から鎮火までの所要時間

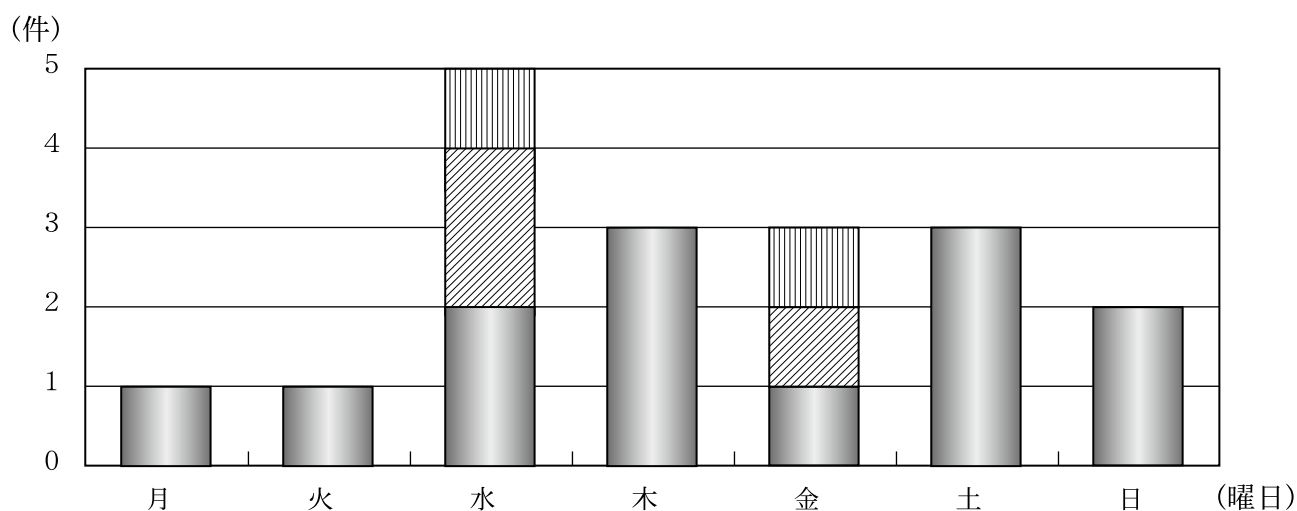
	総 数	5 分 以内	6 分 ～ 10分	11分 ～ 20分	21分 ～ 30分	31分 ～ 40分	41分 ～ 50分	51分 ～ 60分	61分 以上
放 水 し た 件 数	11	2	2	2	1	1	2	1	—
建 物 火 災	8	1	—	2	1	1	2	1	—
林 野 火 災	—	—	—	—	—	—	—	—	—
車 両 火 災	3	1	2	—	—	—	—	—	—
そ の 他 火 災	—	—	—	—	—	—	—	—	—



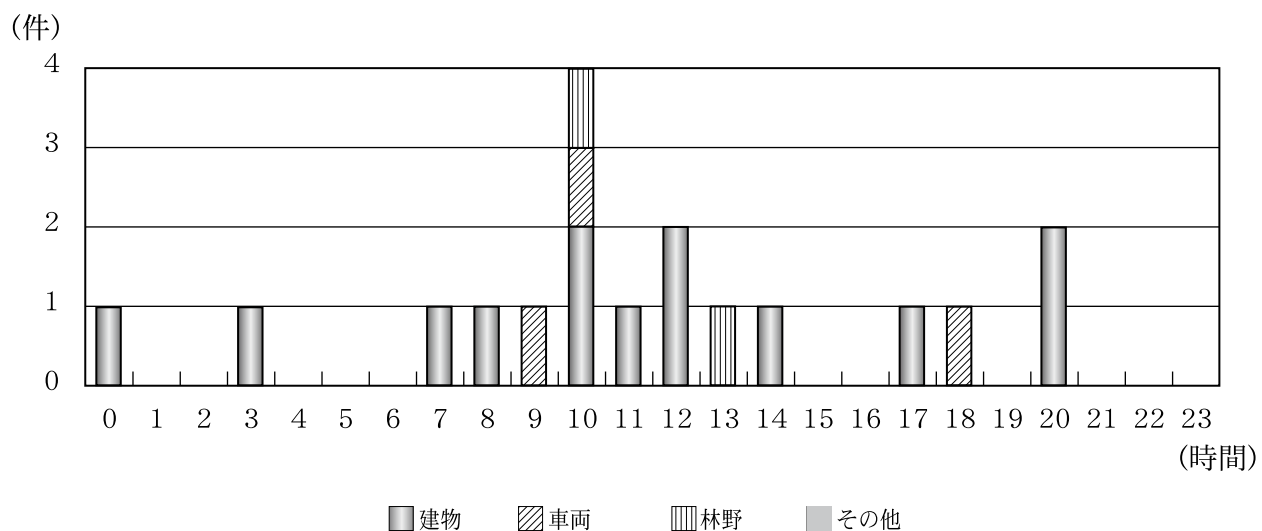
月別火災発生件数



曜日別火災発生件数



時間別火災発生件数



年次別火災件数

	発 生 件 数					火 災 種 別				損 害 額 (千円)	死 者 (人)	り 災 世 帯 (世帯)	建 物 焼 損 面 積 (㎡)
	計	方 面 別				建 物	林 野	車 両	そ の 他				
		八 鹿 方面	養 父 方面	大 屋 方面	関 宮 方面								
昭和53年	27	19	4	1	3	17	4	－	6	88,338	－	15	2,240
54年	26	12	4	3	7	16	8	1	1	64,310	－	12	1,540
55年	23	5	7	7	4	18	4	1	－	36,752	－	7	1,568
56年	23	10	8	4	1	18	1	2	2	92,240	2	12	2,616
57年	22	9	7	3	3	18	1	－	3	69,930	1	13	1,306
58年	24	13	2	4	5	13	3	1	7	27,191	－	20	636
59年	25	11	3	3	8	14	4	2	5	69,190	－	10	690
60年	18	7	4	6	1	15	－	1	2	50,031	1	8	1,293
61年	24	9	4	9	2	14	6	1	3	102,743	1	6	1,486
62年	17	6	4	5	2	8	3	1	5	14,577	1	6	318
63年	19	9	5	4	1	17	－	－	2	37,489	3	10	1,158
平成元年	17	9	6	1	1	13	2	1	1	26,268	－	9	500
2年	10	4	2	2	2	6	2	2	－	19,733	－	4	222
3年	10	6	－	4	－	9	－	－	1	51,132	－	4	3,158
4年	15	6	2	5	2	13	1	1	－	215,447	2	10	1,528
5年	19	4	6	6	3	19	－	－	－	170,867	－	21	1,607
6年	17	4	10	3	－	10	5	1	1	53,215	2	8	573
7年	25	9	6	4	6	15	4	1	5	65,389	1	16	1,370
8年	23	5	7	8	3	13	6	1	3	223,960	1	7	1,396
9年	16	6	3	4	3	9	－	5	2	26,488	－	8	524
10年	15	5	5	1	4	11	1	1	2	75,791	2	6	674
11年	15	6	3	3	3	6	2	5	2	71,829	1	4	1,135
12年	13	3	4	3	3	7	1	－	5	18,208	2	6	162
13年	17	4	9	2	2	9	2	1	5	43,785	2	6	1,286
14年	19	4	5	4	6	7	1	5	6	33,285	1	9	401
15年	22	8	5	7	2	15	2	2	3	14,419	－	8	422
16年	22	8	5	3	6	7	3	3	9	23,205	－	7	502
17年	15	9	4	－	2	7	1	3	4	11,470	－	4	1,062
18年	6	1	2	2	1	5	－	－	1	12,408	2	3	262
19年	10	2	6	2	－	7	1	－	2	23,498	－	6	204
20年	12	6	5	1	－	5	1	4	2	10,346	－	－	774
21年	16	6	3	5	2	7	1	－	8	78,478	2	4	573
22年	11	6	1	2	2	6	1	1	3	18,624	1	7	98
23年	18	10	5	－	3	8	1	3	6	32,136	3	9	720
24年	18	8	3	3	4	13	－	3	2	73,926	2	10	1,170
合 計	629	249	159	124	97	395	72	53	109	2,046,698	33	295	35,174

救 急

救急概要

平成24年中の救急出動件数は1,454件で、前年に比較すると、72件の増加、1日当りの平均出動件数は4件となり、当消防本部発足以来、最多の出動件数でした。

搬送した傷病者は1,365人で、前年と比較すると75人増加で、養父市民約19人に1人の割合で搬送したことになります。



搬送状況

居住別に搬送人員をみますと、市内居住者1,118人で全体の82%を占め、市外居住者が247人となっています。

事故種別でみますと市内居住者は急病が682人と最も多く、次いでその他(転院など)の207人、一般負傷の148人となっています。

市外の居住者では、その33%が交通事故、一般負傷により搬送されています。

これは管内に国道9号、312号が通っており、長距離トラックや、観光地へ向かう交通の要所となっていることと、一年を通じてのスポーツ、レジャー等の事故、特に冬季の鉢高原周辺におけるスキー、スノーボードの事故によるものです。

居住地別搬送人員

事故種別 区 分	災害	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他	計
管内に住所を有する者	3	—	—	60	4	4	148	2	8	682	207	1,118
管外に住所を有する者	—	—	—	53	7	7	28	—	1	55	96	247
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3	—	—	113	11	11	176	2	9	737	303	1,365

救急出動前年比較

区 分	24年 (A)	23年 (B)	増減 (A)－(B)
総 数	1,454	1,382	72
火 災	10	4	6
自然災害	—	—	—
水難事故	—	—	—
交通事故	103	106	△3
労働災害	12	12	増減なし
運動競技	11	5	6
一般負傷	183	229	△46
加 害	2	3	△1
自損行為	11	8	3
急 病	765	694	71
転 院	300	268	32
そ の 他	57	53	4

(△)は減



方面別救急出動件数

区 分 \ 方 面		八鹿方面	養父方面	大屋方面	関宮方面	管 外	合 計
出 動 件 数		627	318	274	234	1	1,454
事 故 種 別	火 災	6	2	—	2	—	10
	自 然 災 害	—	—	—	—	—	—
	水 難 事 故	—	—	—	—	—	—
	交 通 事 故	40	36	4	22	1	103
	労 働 災 害	8	—	1	3	—	12
	運 動 競 技	3	3	—	5	—	11
	一 般 負 傷	66	42	41	34	—	183
	加 害	1	—	1	—	—	2
	自 損 行 為	5	3	3	—	—	11
	急 病	289	180	166	130	—	765
	そ の 他	209	52	58	38	—	357

事故種別傷病程度別搬送人員

事故 傷病程度	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院	計
死 亡	—	—	—	—	—	—	5	—	2	24	5	36
重 症	1	—	—	7	4	—	25	—	3	65	64	169
中等症	1	—	—	17	3	1	67	—	1	283	182	555
軽 症	1	—	—	89	4	10	79	2	3	365	52	605
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3	—	—	113	11	11	176	2	9	737	303	1,365

事故種別年齢区分別搬送人員

事故 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	転 院	計
新生児	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6
乳 幼 児	—	—	—	2	—	—	3	—	—	19	1	25
少 年	—	—	—	9	—	10	13	1	—	29	7	69
成 人	—	—	—	71	9	1	43	—	8	162	61	355
老 人	3	—	—	31	2	—	117	1	1	527	228	910
計	3	—	—	113	11	11	176	2	9	737	303	1,365

現場到着所要時間別出動件数

時 間 事故種別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急 病	16	39	306	334	70	765
交 通 事 故	1	6	49	40	7	103
一 般 負 傷	4	9	70	70	30	183
そ の 他	18	60	234	81	10	403
計	39	114	659	525	117	1,454

収容所要時間別搬送人員

時間 事故種別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急 病	—	35	202	423	77	—	737
交 通 事 故	—	4	14	77	18	—	113
一 般 負 傷	—	7	27	94	45	3	176
そ の 他	1	59	75	189	14	1	339
計	1	105	318	783	154	4	1,365

年齢区分別傷病程度別搬送人員

年 齢 区 分 傷 病 程 度	新 生 児	乳 幼 児	少 年	成 人	老 人	計
死 亡	—	—	—	2	34	36
重 症	2	—	4	48	115	169
中 等 症	3	8	7	103	434	555
軽 症	1	17	58	202	327	605
そ の 他	—	—	—	—	—	—
計	6	25	69	355	910	1,365

急病にかかる疾病分類傷病程度別搬送人員

傷病程度 分類項目		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他	計
循 環 器 系	脳 疾 患	2	23	33	19	—	77
	心 疾 患	13	15	44	34	—	106
消 化 器 系		—	5	32	26	—	63
呼 吸 器 系		2	4	59	22	—	87
神 経 系		—	—	5	14	—	19
感 覚 器 系		—	2	6	12	—	20
泌 尿 器 系		—	2	9	17	—	28
新 生 物		—	1	1	—	—	2
そ の 他		1	5	48	107	—	161
症状・徴候・診断名不明確の状態		6	8	46	114	—	174
計		24	65	283	365	—	737

発生場所別搬送状況

発生場所 区 分		住 宅	公 衆 出入場所	仕 事 場	道 路	そ の 他	計
急 病		578	115	20	16	8	737
交 通		1	—	—	110	2	113
一 般 負 傷		97	27	—	20	32	176
そ の 他		11	308	11	1	8	339
計		687	450	31	147	50	1,365



曜日・月別救急件数及び搬送人員

区 分 事故種別	計	曜 日 別						
		月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日	土 曜 日	日 曜 日
計	1,454(件)	210	209	190	221	215	206	203
	1,365(人)	197	205	172	208	204	190	189
火 災	10(件)	—	—	2	1	2	3	2
	3(人)	—	—	1	—	—	—	2
自 然 災 害	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
水 難 事 故	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
交 通 事 故	103(件)	16	14	13	17	11	17	15
	113(人)	18	18	15	18	14	14	16
労 働 災 害	12(件)	1	5	1	2	1	2	—
	11(人)	—	5	1	2	1	2	—
運 動 競 技	11(件)	1	—	1	1	3	4	1
	11(人)	1	—	1	1	3	4	1
一 般 負 傷	183(件)	19	18	18	28	28	38	34
	176(人)	18	18	17	27	26	39	31
加 害	2(件)	1	—	1	—	—	—	—
	2(人)	1	—	1	—	—	—	—
自 損 行 為	11(件)	3	1	1	3	—	1	2
	9(人)	2	1	1	2	—	1	2
急 病	765(件)	116	115	98	122	107	96	111
	737(人)	109	113	91	117	105	93	109
転 院 搬 送	300(件)	48	47	44	41	55	37	28
	300(人)	48	47	44	41	55	37	28
医 師 搬 送	53(件)	5	7	11	6	8	7	9
	—	—	—	—	—	—	—	—
資 器 材 搬 送	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—
そ の 他	4(件)	—	2	—	—	—	1	1
	3(人)	—	3	—	—	—	—	—

月 別											
1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
146	126	111	97	122	101	118	162	119	100	132	120
137	113	105	87	114	89	113	146	122	95	129	115
1	—	—	—	1	3	1	4	—	—	—	—
—	—	—	—	2	—	—	1	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6	16	4	8	11	5	6	12	16	3	7	9
7	14	4	9	10	5	6	16	22	2	7	11
1	—	—	1	2	1	1	—	2	1	—	3
1	—	—	1	2	1	1	—	2	1	—	2
—	—	1	—	1	—	—	5	3	—	1	—
—	—	1	—	1	—	—	5	3	—	1	—
15	13	17	13	15	10	12	21	15	14	18	20
14	13	16	12	14	9	12	20	14	14	18	20
—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—
1	2	2	1	1	—	1	1	—	—	1	1
1	1	2	1	—	—	1	1	—	—	1	1
88	71	62	48	60	51	65	80	55	57	76	52
85	66	60	44	60	47	62	76	55	56	75	51
29	19	21	20	25	26	28	27	26	22	27	30
29	19	21	20	25	26	28	27	26	22	27	30
5	5	2	6	6	4	2	11	2	3	2	5
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	2	—	—	—	1	1	—	—	—	—
—	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—

上段 出動件数、下段 搬送人員

休日・時間別救急件数及び搬送人員

区分 事故種別	計	休日別		時間別					
		休日	休日以外	0 ～ 2	2 ～ 4	4 ～ 6	6 ～ 8	8 ～ 10	10 ～ 12
計	1,454(件)	280	1,174	46	28	31	68	185	214
	1,365(人)	259	1,106	46	27	29	68	174	198
火災	10(件)	2	8	—	—	—	—	3	1
	3(人)	2	1	—	—	—	—	—	2
自然災害	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水難事故	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
交通事故	103(件)	18	85	1	4	3	3	18	10
	113(人)	20	93	1	6	4	3	19	11
労働災害	12(件)	—	12	—	—	—	—	2	2
	11(人)	—	11	—	—	—	—	2	2
運動競技	11(件)	3	8	—	—	—	—	—	3
	11(人)	3	8	—	—	—	—	—	3
一般負傷	183(件)	50	133	3	1	5	13	12	34
	176(人)	46	130	3	1	3	13	11	33
加害	2(件)	—	2	—	—	—	—	—	1
	2(人)	—	2	—	—	—	—	—	1
自損行為	11(件)	2	9	—	—	1	—	1	—
	9(人)	2	7	—	—	1	—	1	—
急病	765(件)	148	617	34	19	18	48	93	90
	737(人)	145	592	34	17	17	47	91	85
転院搬送	300(件)	41	259	8	3	4	3	50	61
	300(人)	41	259	8	3	4	3	50	61
医師搬送	53(件)	15	38	—	—	—	—	6	12
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
資器材搬送	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	4(件)	1	3	—	1	—	1	—	—
	3(人)	—	3	—	—	—	2	—	—

不搬送件数

						計	緊急性なし	傷病者なし	拒否	酩酊	死亡	現場処置	誤報・いたすら	その他
12 ～ 14	14 ～ 16	16 ～ 18	18 ～ 20	20 ～ 22	22 ～ 24									
183	203	179	143	95	79	61	6	8	18	—	13	1	2	13
168	179	174	136	93	73									
1	3	—	1	1	—	8	—	4	—	—	1	—	—	3
—	1	—	—	—	—									
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—									
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—									
14	10	21	11	4	4	12	2	2	3	—	—	—	—	5
14	11	24	12	5	3									
3	2	3	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—	—
3	1	3	—	—	—									
1	6	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
1	6	1	—	—	—									
23	24	30	18	12	8	8	—	—	3	—	3	1	—	1
23	23	30	16	12	8									
—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	1	—	—									
2	2	1	1	3	—	2	—	—	—	—	2	—	—	—
1	2	1	1	2	—									
79	88	80	91	64	61	28	4	2	11	—	7	—	—	4
77	83	78	89	63	56									
49	52	36	17	11	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—
49	52	36	17	11	6									
10	16	6	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—									
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—									
1	—	1	—	—	—	2	—	—	—	—	—	—	2	—
—	—	1	—	—	—									

救急隊員の行った応急処置

傷病程度		応 対 急 象 処 人 置 員	止 血	固 定	人 工 呼 吸	心 臓 マ ッ サ ー ジ	う ち 自 動	心 肺 蘇 生	う ち 自 動	酸 素 吸 入	気 道 確 保	※ 1	※ 2	※ 3	※ 4
急 病	死 亡	24	—	1	—	2	1	20	8	23	24	1	—	17	2
	重 症	65	—	2	7	—	—	10	3	44	22	1	—	7	—
	中 等 症	282	—	2	1	—	—	—	—	123	2	—	—	—	—
	軽 症	364	1	9	—	—	—	—	—	65	3	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	735	1	14	8	2	1	30	11	255	51	2	—	24	2
交 通 事 故	死 亡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	重 症	7	—	6	1	—	—	1	—	4	1	—	—	1	—
	中 等 症	17	2	14	—	—	—	—	—	12	—	—	—	—	—
	軽 症	89	2	79	—	—	—	—	—	13	—	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	113	4	99	1	—	—	1	—	29	1	—	—	1	—
一 般 負 傷	死 亡	5	—	—	—	—	—	5	3	3	5	—	—	5	—
	重 症	25	2	10	1	—	—	1	1	9	1	—	—	—	1
	中 等 症	65	6	22	—	—	—	—	—	10	2	—	—	—	—
	軽 症	77	17	43	—	—	—	—	—	12	1	—	1	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	172	25	75	1	—	—	6	4	34	9	—	1	5	1
そ の 他	死 亡	7	—	—	1	—	—	7	2	6	7	1	—	4	1
	重 症	71	—	4	1	—	—	2	—	46	4	—	—	2	—
	中 等 症	184	—	6	2	—	—	—	—	111	4	—	1	—	—
	軽 症	71	3	17	—	—	—	—	—	26	2	—	—	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	333	3	27	4	—	—	9	2	189	17	1	1	6	1
合 計	死 亡	36	—	1	1	2	1	32	13	32	36	2	—	26	3
	重 症	168	2	22	10	—	—	14	4	103	28	1	—	10	1
	中 等 症	548	8	44	3	—	—	—	—	256	8	—	1	—	—
	軽 症	601	23	148	—	—	—	—	—	116	6	—	1	—	—
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	1,353	33	215	14	2	1	46	17	507	78	3	2	36	4

- 参考 ※1 経鼻エアウェイを使用しての気道確保
 ※2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去
 ※3 救急救命士法に基づき重度傷病者に対して行う救急救命処置のうち、
 ラリングアルマスク等を使用しての気道確保
 ※4 気管挿管による気道確保

保 温	被 覆	在宅療 法継 続	※ A	※ B	※ C	シ ョ ッ ク パ ン ツ に よ る 血 圧 保 持	除 細 動	静 脈 （ 輸 液 ） 路 確 保	薬 剤 投 与	そ の 急 他 処 置	血 圧 測 定	聴 診 器 に よ る 取 得	血 中 飽 和 濃 度 の 測 定	心 電 図	う ち 伝 送	合 計
—	—	—	—	—	—	—	4	10	5	1	1	18	2	23	—	134
13	—	1	—	—	1	—	1	6	5	4	57	41	56	53	—	322
48	—	3	1	1	2	—	—	—	—	27	237	137	279	188	—	1,083
50	1	1	—	—	1	—	—	—	—	34	348	143	362	223	—	1,240
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
111	1	5	1	1	4	—	5	16	10	66	679	339	699	487	—	2,779
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	7	6	6	—	41
8	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	11	16	12	—	91
14	8	—	—	—	—	—	—	—	—	2	87	65	88	35	—	393
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
25	9	—	—	—	—	—	—	—	—	2	108	83	110	53	—	525
—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	5	—	5	—	25
5	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	24	11	24	10	—	100
15	9	—	—	—	—	—	—	—	—	3	64	24	64	24	—	243
10	16	—	—	—	—	—	—	—	—	3	72	37	76	29	—	316
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30	26	—	—	—	—	—	—	2	—	7	160	77	164	68	—	684
1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	3	1	6	—	33
11	3	—	—	—	—	—	—	1	1	1	56	13	67	44	—	254
18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	155	62	181	101	—	648
15	3	—	—	—	—	—	—	—	—	2	55	21	71	29	—	244
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
45	6	—	—	—	—	—	—	1	2	11	266	99	320	180	—	1,179
1	—	—	—	—	—	—	4	12	6	1	1	26	3	34	—	192
32	4	1	—	—	1	—	1	7	6	6	143	72	153	113	—	717
89	10	3	1	1	2	—	—	—	—	38	507	234	540	325	—	2,065
89	28	1	—	—	1	—	—	—	—	41	562	266	597	316	—	2,193
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
211	42	5	1	1	4	—	5	19	12	86	1,213	598	1,293	788	—	5,167

※A 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴処置が施されているもの
 ※B 気管切開孔又は気管瘻、人口肛門等の外瘻処置が施されているもの
 ※C ※A、※B以外の処置が施されているもの

ドクターヘリ要請状況

ドクターヘリ 要請件数	ドクターヘリ・ドクターカー 出動なし
346	10

※『ドクターヘリ・ドクターカー出動なし』は要請したが、天候不良・他事安対応中などでヘリ・カー共に出動のなかった事案

ドクターヘリ月別要請状況

月別 種別	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
火 災	2	—	—	—	—	1	—	—	1	—	—	—	—
自然災害	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
水難事故	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
交通事故	37	2	4	1	3	5	—	3	3	6	2	3	5
労働災害	8	1	—	—	1	1	1	—	—	2	1	—	1
運動競技	2	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—
一般負傷	43	2	2	4	6	3	4	4	7	3		3	5
加 害	1	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—
自損行為	9	1	1	2	1	1	—	1	—	—	—	1	1
急 病	213	32	24	15	12	20	15	16	20	15	13	19	12
転院搬送	31	1	1	2	1	1	3	8	3	2	5	1	3
そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
総 数	346	39	32	25	24	32	23	33	35	28	21	27	27

病院紹介

曜日別紹介数

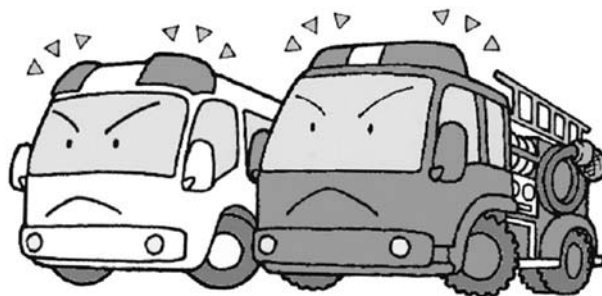
曜 日	月	火	水	木	金	土	日	合 計
件 数	4	4	1	3	3	8	5	28

事故種別紹介件数

事故種別	急 病	一般負傷	労働災害	交通事故	運動競技	そ の 他	合 計
件 数	18	7	—	1	1	1	28

月別・時間別紹介数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
件 数	4	3	2	1	2	1	6	5	—	1	2	1	28
時 間	0～2	2～4	4～6	6～8	8～10	10～12	12～14	14～16	16～18	18～20	20～22	22～24	合計
件 数	1	—	3	—	5	3	1	1	6	1	4	3	28



年次別救急統計

年別 合 計	種別	事 故 種 別										
		火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
昭和53年	57	—	—	—	25	6	—	11	—	1	13	1
54年	369	—	—	2	114	14	4	66	2	5	146	16
55年	508	1	7	2	128	20	7	101	3	2	204	33
56年	550	1	—	2	111	15	13	98	1	1	276	32
57年	625	1	—	3	114	28	10	114	2	6	316	31
58年	623	—	—	5	140	23	11	105	2	4	304	29
59年	693	1	3	1	155	26	15	128	4	3	320	37
60年	604	1	1	1	148	19	6	88	3	6	289	42
61年	649	1	—	2	159	24	7	110	1	3	297	45
62年	627	—	—	—	152	20	4	90	2	3	301	55
63年	737	3	—	2	156	32	10	105	2	6	362	59
平成元年	726	—	—	2	181	35	16	120	2	3	323	44
2年	804	—	1	—	182	25	9	126	1	5	404	51
3年	795	—	2	1	181	23	12	131	3	10	370	62
4年	764	2	—	—	171	32	5	115	1	5	359	74
5年	777	1	—	—	169	18	14	114	8	10	380	63
6年	785	1	—	2	158	17	10	123	4	4	404	62
7年	940	2	—	1	185	28	8	138	3	6	494	75
8年	835	1	—	—	188	18	7	146	3	6	401	65
9年	789	2	—	—	164	15	11	136	3	8	399	51
10年	838	1	—	4	175	16	10	117	1	11	407	96
11年	961	1	—	4	147	24	12	149	1	7	523	93
12年	1,010	1	—	—	181	22	4	166	9	8	517	102
13年	1,106	1	—	1	160	26	9	200	3	10	594	102
14年	1,020	2	—	—	138	27	8	169	2	11	531	132
15年	1,038	—	—	—	143	11	11	180	7	4	535	147
16年	1,213	1	8	2	120	25	20	197	2	10	645	183
17年	1,367	2	—	—	165	27	11	218	5	7	698	234
18年	1,322	2	—	1	160	17	8	245	1	6	634	248
19年	1,177	—	—	—	119	21	12	173	—	9	646	197
20年	1,240	4	—	—	133	11	9	223	3	7	603	247
21年	1,162	1	—	—	129	6	7	191	—	10	582	236
22年	1,336	1	—	—	155	19	10	194	3	14	676	264
23年	1,382	4	—	—	106	12	5	229	3	8	694	321
24年	1,454	10	—	—	103	12	11	183	2	11	765	357
合 計	30,883	49	22	38	5,115	714	326	4,999	92	230	15,412	3,886

方 面 別 出 動 件 数 別					搬 送 人 員							
八 鹿	養 父	大 屋	関 宮	管 外	合 計	男	女	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
30	16	3	8	—	65	51	14	2	16	27	20	—
153	98	33	82	3	369	251	118	6	72	146	145	—
171	144	90	98	5	527	329	198	15	85	206	221	—
197	122	106	125	—	549	336	213	9	88	226	225	1
213	166	97	148	1	627	391	236	10	78	267	272	—
207	159	131	125	1	647	410	237	18	93	261	275	—
227	182	129	151	4	695	437	258	13	140	251	291	—
228	146	115	114	1	625	401	224	11	127	264	223	—
225	162	128	134	—	658	390	268	12	125	253	268	—
231	144	128	121	3	644	393	251	14	143	251	236	—
264	218	133	121	1	724	450	274	16	134	293	281	—
273	199	138	114	2	735	454	281	15	130	293	297	—
310	211	123	160	—	828	505	323	19	192	289	328	—
283	237	125	147	3	840	520	320	12	217	237	366	8
309	188	137	130	—	824	504	320	17	159	228	420	—
309	174	132	161	1	794	478	316	31	235	220	305	3
296	205	133	148	3	829	489	340	22	238	162	406	1
347	259	166	167	1	979	582	397	35	163	291	486	4
337	204	149	140	5	843	504	339	44	125	239	434	1
318	190	127	151	3	792	468	324	27	89	217	456	3
331	207	150	148	2	844	459	385	38	69	317	419	1
368	235	161	196	1	951	573	378	55	33	449	413	1
411	246	158	191	4	1,031	617	414	44	14	484	487	2
439	276	183	208	—	1,107	631	476	46	36	480	544	1
387	285	161	184	3	1,024	559	465	21	116	435	452	—
390	254	189	204	1	1,043	601	442	32	156	367	488	—
458	291	226	236	2	1,199	666	533	37	211	440	509	2
502	309	294	262	—	1,336	756	580	28	161	446	699	2
528	307	254	232	1	1,294	725	569	25	124	492	651	2
467	290	221	199	—	1,151	651	500	30	188	400	533	—
538	282	224	194	2	1,204	641	563	23	142	515	524	—
529	261	174	198		1,132	612	520	23	101	515	493	—
627	313	207	188	1	1,250	690	560	36	83	569	562	—
654	284	206	237	1	1,290	710	580	28	98	600	564	—
627	318	274	234	1	1,365	720	645	36	169	555	605	—
12,184	7,582	5,405	5,656	56	30,815	17,954	12,861	850	4,350	11,685	13,898	32

救 助

救助概要

平成24年中の救助出動件数は前年比3件減の35件で、そのうち救助活動のあったものは、21件でした。救出した人員は23人で、前年の29人と比較して6人減となり、内訳は死亡1人、重症4人、中等症9人、軽症9人でした。

また、事故別の出動構成比は、交通事故が21件と全体の60％を占めています。

交通事故以外では、火災による事故が4件、機械による事故が2件、水難による事故が1件、その他(山中等、搬送困難な場所で発生した事故等)の事故が7件発生しました。



		合 計	事 故 種 別 出 動 件 数								
			火 災	交 通	水 難	自 然 災 害	機 械	建 物	酸 欠	爆 発	そ の 他
出 動 件 数		35	4	21	1	—	2	—	—	—	7
活 動 件 数		21	4	10	1	—	1	—	—	—	5
方 面 別 出 動 件 数	八鹿方面	10	2	7	1	—	—	—	—	—	—
	養父方面	9	1	7	—	—	—	—	—	—	1
	大屋方面	5	—	—	—	—	2	—	—	—	3
	関宮方面	10	1	6	—	—	—	—	—	—	3
	管 外	1	—	1	—	—	—	—	—	—	—
傷 病 程 度 別 救 助 人 員	計	23	2	14	1	—	1	—	—	—	5
	死 亡	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	重 症	4	—	2	—	—	1	—	—	—	1
	中 等 症	9	1	5	—	—	—	—	—	—	3
	軽 症	9	—	7	1	—	—	—	—	—	1
	そ の 他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

年次別救助件数

月別 年別	合 計	事 故 種 別 出 動 件 数								
		火 災	交 通	水 難	自然 災害	機 械	建 物	酸 欠	爆 発	そ の 他
昭和53年～59年	81	1	66	—	2	5	—	—	—	7
60年	18	—	18	—	—	—	—	—	—	—
61年	26	1	19	—	—	3	—	—	—	3
62年	27	—	21	—	—	3	—	—	—	3
63年	30	—	26	2	—	1	—	—	—	1
平成元年	38	—	33	—	—	1	—	—	—	4
2年	38	—	31	—	1	—	—	—	—	6
3年	43	—	41	—	1	—	—	—	—	1
4年	50	—	41	—	—	2	—	—	—	7
5年	43	—	40	—	—	—	—	—	—	3
6年	30	1	25	—	2	—	—	—	—	2
7年	40	—	32	—	—	2	—	—	—	6
8年	45	1	39	—	—	—	—	—	—	5
9年	40	—	35	—	—	2	—	—	—	3
10年	51	—	43	2	—	—	—	—	—	6
11年	41	—	31	2	—	1	—	—	—	7
12年	55	—	47	—	—	2	—	—	—	6
13年	54	—	40	1	—	1	1	—	—	11
14年	50	—	41	—	—	2	1	1	—	5
15年	32	—	23	—	—	1	—	—	—	8
16年	47	—	27	2	11	1	—	—	—	6
17年	46	—	29	—	—	1	—	—	—	16
18年	46	—	33	1	—	—	—	—	—	12
19年	34	—	24	—	—	1	—	—	—	9
20年	31	—	23	—	—	2	—	—	—	6
21年	35	1	26	—	1		—	—	—	7
22年	45	—	26	—	—	2		—	—	17
23年	38	3	23	—	—	2	—	—	—	10
24年	35	4	21	1	—	2	—	—	—	7
合 計	1,189	12	924	11	18	37	2	1	—	184

消防団員の年齢構成

年 齢 階 級	20 歳 未 満	20 ～ 24	25 ～ 29	30 ～ 34	35 ～ 39	40 ～ 44	45 ～ 49	50 ～ 54	55 ～ 59	60 歳 以 上
合 計	1	28	119	214	328	266	191	113	22	8
団 長	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
副 団 長	—	—	—	—	—	—	1	6	5	3
分 団 長	—	—	—	1	4	9	20	13	2	—
副 分 団 長	—	—	—	4	20	31	24	10	—	—
部 長	—	—	3	9	43	23	16	9	2	—
班 長	—	—	24	53	87	76	42	17	2	—
団 員	1	28	92	147	174	127	88	58	11	4

消防団員の勤務年数

勤 務 年 数	0 ～ 5	5 ～ 10	10～15	15～20	20～25	25～30	30～	計
人 数	284	248	261	217	157	86	37	1,290



文化財防火デーに伴う関宮方面隊との合同夜間訓練
(関宮文化財保管庫)

平成24年度幼少年婦人防火クラブ活動状況

実施日	実施項目	参加クラブ員数	派遣職員数
平成24年			
4月 1日	童和幼年消防クラブ消防大会参加 防火演技	15	
"	婦人防火クラブ消防大会参加	1	
4月11日	養父市婦人防火クラブ会計監査及び代議員会	6	3
5月10日	伊佐少年消防クラブ総会及び訓練礼式	65	2
"	養父地区・大屋地区防火広報	3	1
5月24日	養父市幼少年婦人防火委員会	10	4
5月26日	養父市婦人防火クラブ総会	24	3
7月26日	伊佐少年消防クラブ氷ノ山登山	29	3
"	養父地区防火広報	4	1
8月24日	養父市婦人防火クラブ代議員会	3	2
9月 6日	関宮地区防火広報	3	1
9月15日	童和幼年消防クラブ運動会 防火演技	45	
"	日光幼年消防クラブ運動会 "	90	
9月16日	伊佐少年消防クラブ運動会 "	65	
"	養父少年消防クラブ運動会 "	39	
9月18日	養父市婦人防火クラブ三役会	3	2
9月21日	養父市婦人防火クラブ防災研修	10	2
9月22日	関宮幼年消防クラブ運動会 防火演技	70	
9月23日	太陽幼年消防クラブ運動会 "	73	
9月29日	小佐幼年消防クラブ運動会 "	16	
"	伊佐幼年消防クラブ運動会 "	41	
"	宿南幼年消防クラブ運動会 "	14	
11月14日	八鹿地区防火広報	3	1
12月 6日	伊佐幼年消防クラブ防火餅つき	44	2
"	小佐幼年消防クラブ防火餅つき	17	2
12月 7日	関宮幼年消防クラブ防火餅つき	72	2
"	宿南幼年消防クラブ防火餅つき	14	2
12月20日	童和幼年消防クラブ防火餅つき	46	2
平成25年			
1月31日	伊佐少年消防クラブ 救急法講習会	65	3
2月18日	養父市婦人防火クラブ代議員会	4	2
2月28日	伊佐少年消防クラブ 修了証授与式	65	2
3月 2日	日光幼年消防クラブ 防火餅つき	85	
3月 5日	養父少年消防クラブ 修了証授与式	39	3
3月18日	建屋地区防火広報	3	1
3月24日	養父市婦人防火クラブ 一般公募普通救命講習会参加	6	2
3月25日	養父市婦人防火クラブ代議員会	4	2

1 1 9 番受信状況（平成24年）

種 別 月 別	火 災	救 急	訓 練	病 院 紹 介	問 合 せ	い た ず ら	試 験	そ の 他	合 計
1月	1	118	6	1	4	6	41	13	190
2月	—	94	5	2	4	2	44	10	161
3月	2	84	12	2	1	5	50	8	164
4月	2	66	3	1	1	3	43	12	131
5月	2	88	2	2	1	2	37	10	144
6月	2	71	14	1	1	1	47	24	161
7月	1	100	10	5	3	5	33	10	167
8月	3	129	2	2	2	1	37	18	194
9月	1	88	3	1	—	1	36	13	143
10月	—	76	10	1	—	5	54	7	153
11月	1	112	17	1	—	6	35	9	181
12月	—	96	15	3	—	—	55	14	183
合 計	15	1,122	99	22	17	37	512	148	1,972

特殊器具等の状況（消防用機器の配置状況）

消 防 用			救 助 用		
名 称		数量	名 称		数量
消 防 用	C級可搬式ポンプ	2	救 助 用	耐熱服	2
	D級可搬式ポンプ	2		空気呼吸器	14
	可搬式送水装置	3		エンジンカッター	1
	ジェットシューター	25		ヒッパラー	1
	高発泡器	2		エアーカッター	1
	組立式布水槽	2		エッジローラー	2
救 急 用	半自動除細動器	3		チルホール	2
	患者監視装置	3		スーパーカッター	1
	パルスオキシメーター	3		エンジンチェーンソー	1
	喉頭鏡	4		ルーカスレスキューツール	1
	気管挿管セット	3		マット型空気ジャッキ	1
	呼吸管理器具	3		エンジンライト	1
	自動式心マッサージ器	2		救急マット	1
	陰圧式固定具	4		緩降機	1
	スクープストレッチャー	4		送排風機	1
	リングカッター	3		救命索発射銃	2
	超微粒子噴霧消毒器	1		舟型担架	2
	バックボード	4		スケッドストレッチャー	1
	脊柱固定器具	4		ガス溶断機	1
	高度救急シミュレーター	2		エアーソー	1
	静脈注射訓練モデル	1		グラスソー	1
	心肺蘇生訓練用人形	17		化学防護服	2
	AEDトレーナー	7		防毒マスク	14
	ショートボート	2		マンホール救助器具	1式
	AED(自動対外式除細動器)	2		電動鉄線カッター	1
				ガス測定器	2
水 難 救 助 用	スキューバーセット	6		車両移動器具	1
	救命胴衣	35		削岩機	1
	救命浮輪	5		酸素呼吸器	2
	救助用ボート	1		簡易画像探索機	1
	船外機	1		距離測定機	1
				GPSハンディナビ	3
				ハンマードリル	1
				セイバーソー	1
				エアーテント	1式

広報活動状況

種 別	回数・参加人数・数量等	市内全域
C A T V 音声告知による気象等の広報	77回	市内全域
C A T V 音声告知による訓練広報	7回	市内全域
C A T V 音声告知による上記以外の広報	30回	市内全域
C A T V に よ る 広 報	春・秋の火災予防運動 山火事防止運動中随時	市内全域
消 防 車 両 に よ る 広 報	18回	市内全域
防 火 パ レ ー ド	1回	市内全域
防 火 フ ェ ス タ	1回	市内全域
防 火 講 習 会	17回 616名	市内全域
救 急 講 習 会	48回 996名	市内全域
自 衛 消 防 訓 練 等 指 導	45回 3,661名	現場指導
防 火 ポ ス タ ー の 配 布	1,100枚	市内全域
防 火 ち ら し の 配 布	1回 10,400枚	市内全域
防 火 看 板	1回 2枚	本署・出張所



平成25年4月1日 南但消防本部発足式 消防本部旗授与式

養父市・朝来市の安全をめざして

(住宅用火災警報器を設置しましょう)

消防年報 第1号

南但消防本部年報編集委員会

〒669-5261 兵庫県朝来市和田山町枚田436-1

TEL (079) 672-0119 (代)

FAX (079) 672-5046

Email nantan-fd@nantan.hyogo.jp

消防本部ホームページアドレス

<http://www.nantan.hyogo.jp/fire/>